

注3

大学番号：013

[平成29年度設置]

計画の区分： 学部の学科の設置

注1

事前伺い

山形大学 工学部

高分子・有機材料工学科、化学・バイオ工学科、
情報・エレクトロニクス学科及び建築・デザイン学科

注2

【事前伺い】 設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人山形大学
平成30年5月1日現在

作成担当者	
担当部局（課）名	企画部企画課
職名・氏名	フカダチヨウ 副課長・ 佐竹 弘 顕
電話番号	023-628-4190
（夜間）	023-628-4190
F A X	023-628-4849
e-mail	kikadai@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
- 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。
設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。
- 例) 〇〇大学 △△学部 □□学科
(◇◇学部(平成◇◇年度より学科名称変更))
- 表題は「計画の区分」に従い、記入してください。
- 例)
- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
 - ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
 - ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
 - ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
 - ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」
- 3 大学番号の欄については、平成29年3月31日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

工学部

<高分子・有機材料工学科>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	4
2. 授業科目の概要	8
3. 施設・設備の整備状況、経費	16
4. AC対象学部等を含む大学等の状況	17
5. 教員組織の状況	21
6. 留意事項等に対する履行状況等	31
7. その他全般的事項	32

<化学・バイオ工学科>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	34
2. 授業科目の概要	38
3. 施設・設備の整備状況、経費	46
4. AC対象学部等を含む大学等の状況	47
5. 教員組織の状況	51
6. 留意事項等に対する履行状況等	61
7. その他全般的事項	62

<情報・エレクトロニクス学科>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	64
2. 授業科目の概要	68
3. 施設・設備の整備状況、経費	76
4. AC対象学部等を含む大学等の状況	77
5. 教員組織の状況	81
6. 留意事項等に対する履行状況等	91
7. その他全般的事項	92

<建築・デザイン学科>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	94
2. 授業科目の概要	98
3. 施設・設備の整備状況、経費	106
4. AC対象学部等を含む大学等の状況	107
5. 教員組織の状況	111
6. 留意事項等に対する履行状況等	118
7. その他全般的事項	119

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人 山形大学

(2) 大学名

山形大学

(3) 大学の位置

〒992-8510
山形県米沢市城南四丁目3番16号

(〒990-8560
山形県山形市小白川町一丁目4番12号)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	※該当なし		
学長	(コヤマ キヨヒト) 小山清人 (平成26年4月)		
学部長	(イイツカ ヒロシ) 飯塚博 (平成23年9月)		
学科長	(カワグチ セイゴウ) 川口正剛 (平成29年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
(例) 平成29年度に報告済の内容 → (29)
平成30年度に報告する内容 → (30)
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部/学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください)。
 ・ 様式は、平成27年度開設の4年制の学科の場合(平成30年度までの4年間)ですが、開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
工学部 高分子・有機材料工学科 学士(工学)	工学関係	4年	140人	- 年次人	560人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度		平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	140人 (-) [若干人]	-	140人 (-) [若干人]	-	()人 []	()人 []	()人 []	()人 []	1.04 倍	
志願者数	254 (-) [2]	- (-) [-]	267 (-) [-]	- (-) [-]	() () []	() () []	() () []	() () []		
受験者数	247 (-) [2]	- (-) [-]	258 (-) [-]	- (-) [-]	() () []	() () []	() () []	() () []		
合格者数	159 (-) [1]	- (-) [-]	159 (-) [-]	- (-) [-]	() () []	() () []	() () []	() () []		
B 入学者数	148 (-) [1]	- (-) [-]	145 (-) [-]	- (-) [-]	() () []	() () []	() () []	() () []		
入学定員超過率 B/A	1.05		1.03							

- (注) ・ 数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 転入学生は記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	148 [1] (-)	- [-] (-)	156 [-] (11)	- [-] (-)	[] [] ()	[] [] ()	[] [] ()	[] [] ()	
2年次	/		136 [1] (-)	- [-] (-)	[] [] ()	[] [] ()	[] [] ()	[] [] ()	
3年次	/		/		[] [] ()	[] [] ()	[] [] ()	[] [] ()	
4年次	/		/		/		[] [] ()	[] [] ()	
計	148 [1] (-)		292 [1] (11)		[] [] ()	[] [] ()	[] [] ()	[] [] ()	

- (注) ・ 数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由
			入学した年度	退学者数	退学者数のうち留学生数	
平成29年度	148 人	1 人	平成29年度	1 人	0 人	他の教育機関への入学・転学(1人)
平成30年度	292 人	0 人	平成29年度	0 人	0 人	
			平成30年度	0 人	0 人	
平成31年度	人	人	平成29年度	人	人	
			平成30年度	人	人	
			平成31年度	人	人	
平成32年度	人	人	平成29年度	人	人	
			平成30年度	人	人	
			平成31年度	人	人	
			平成32年度	人	人	
合 計	440 人	1 人				

(注)・数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。

- 各年度の在学者数については、該当年度に在学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- 在学者数や退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) - ⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{1}{148} = \boxed{0.67} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{292} = \boxed{0} \%$$

【平成31年度】

$$\frac{\text{平成31年度の退学者数(a)}}{\text{平成31年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【平成32年度】

$$\frac{\text{平成32年度の退学者数(a)}}{\text{平成32年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<工学部 高分子・有機材料工学科>

(1) ① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
各コース共通	微積分解法	1前		2			1					1
	化学C	1前		2								1
	物理化学基礎	1前		2		1						
	数学C	1後		2								1
	物理学基礎	1後		2		1						1
	有機化学基礎	1後		2		1						
	高分子工学	1後		2			1					
	スキルアップセミナー	2前	1			1						
	基礎専門英語	2前		1			1					
	キャリア形成論	2前		2			1					
	数学 I	2前		2			1					
	数学 II	2前		2				1				
	物理学 I	2前		2				1				
	物理学実験	2前	2				2	2		2		
	有機化学 I	2前		2			1					
	有機化学演習 I	2前	2				1			2		
	物理化学 I	2前		2			1					
	物理化学演習 I	2前	2				1			2		
	化学・バイオ工学概論	2前		2				1				
	情報エレクトロニクス概論	2前		2				1				
	機械システム概論	2前		2				1				
	科学英語	2後		2				1				
	キャリアプランニング	2後		2				1				
	数学IV	2後		2					1			
	物理学 II	2後		2				1				
	有機化学 II	2後		2				1				
	有機化学演習 II	2後	2					1		2		
	物理化学 II	2後		2				1				
	物理化学演習 II	2後	2					1		2		
	合成化学概論	2後		2					1			
	光・電子材料概論	2後		2				1				
	物性工学概論	2後		2				1				
構造解析・分析法 I	2後		2				1					
構造解析・分析法 II	2後		2					1				
高分子・有機材料工学実験	2後	2					2		6			
ベンチャービジネス論	2後		2								1	
学外実習(インターンシップ) I	3前・後		1			1	2		1			
学外実習(インターンシップ) II	3前・後		1			2	1		1			
高分子熱・統計力学	3前		2				1					
無機化学	3前		2				1					
知的財産権概論	4前		2								1	
先端高分子工学	3後		1				1					
環境高分子科学	3後		1				1					
ソフトマテリアル工学	3後		2				1					
研究開発プロポーザル	3後	6				14	11		9			
高分子経済学	4前		1								1	
卒業研究	4前・後	10				14	11		9			
特別講義	3・4前・後		2								1	
産業理解特別講義	2前		2								1	

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
各コース共通	微積分解法	1前		2								2
	化学C	1前		2								1
	物理化学基礎	1前		2				4				
	数学C	1後		2								1
	物理学基礎	1後		2								2
	有機化学基礎	1後		2				2	2			
	高分子工学	1後		2				2	2			
	スキルアップセミナー	2前	1				1					
	基礎専門英語	2前		1					1			
	キャリア形成論	2前		2								1
	数学 I	2前		2								1
	数学 II	2前		2								1
	物理学 I	2前		2								1
	物理学実験	2前	2									6
	有機化学 I	2前		2					2			
	有機化学演習 I	2前	2						2	1		2
	物理化学 I	2前		2					1			
	物理化学演習 I	2前	2						1			4
	化学・バイオ工学概論	2前		2								1
	情報エレクトロニクス概論	2前		2								1
	機械システム概論	2前		2								1
	科学英語	2後		2					1			
	キャリアプランニング	2後		2								1
	数学IV	2後		2								1
	物理学 II	2後		2								1
	有機化学 II	2後		2						2		
	有機化学演習 II	2後	2							3		2
	物理化学 II	2後		2						2		
	物理化学演習 II	2後	2							2		4
	合成化学概論	2後		2						1		
	光・電子材料概論	2後		2						1		
	物性工学概論	2後		2						1		
構造解析・分析法 I	2後		2								1	
構造解析・分析法 II	2後		2							1		
高分子・有機材料工学実験	2後	2							1	3	5	
ベンチャービジネス論	2後		2								1	
学外実習(インターンシップ) I	3前・後		1					1	2		1	
学外実習(インターンシップ) II	3前・後		1					2	1		1	
高分子熱・統計力学	3前		2						1			
無機化学	3前		2						1			
知的財産権概論	4前		2								1	
先端高分子工学	3後		1						1			
環境高分子科学	3後		1						1			
ソフトマテリアル工学	3後		2						1			
研究開発プロポーザル	3後	6							15	11	9	
高分子経済学	4前		1								1	
卒業研究	4前・後	10							15	11	9	
特別講義	3・4前・後		2								1	
産業理解特別講義	2前		2								1	

科目	キャリア形成特別講義	2前	2							1	
	工業技術概論	3前	2		1					3	
	職業指導 I	3前	2							1	
	職業指導 II	3前	2							1	
	合成化学コース	合成化学演習	3前	2		1					
		高分子合成化学 I	3前	2	1						
		高分子合成化学 II	3前	2		1					
		有機量子化学	3前	2		1					
		光・電子材料合成化学	3前	2	1						
		合成化学輪講 I	3前	2	2	1					
		合成化学実験 I	3前	2	1	3		3			
		合成化学実験 II	3前	2	1	3		3			
		有機合成化学	3後	2		1					
分子集合体化学		3後	2		1						
無機材料化学	3後	2	1								
合成化学輪講 II	3後	2	4	3		3					
合成化学輪講 III	4前	2	4	3		3					
合成化学輪講 IV	4後	2	4	3		3					
光・電子材料コース	光・電子材料演習	3前	2	1							
	有機量子化学	3前	2	1							
	光・電子材料合成化学	3前	2	1							
	有機光・電子物性学	3前	2	1							
	高分子表面科学	3前	2	1							
	光・電子材料輪講 I	3前	2	1	2						
	光・電子材料実験 I	3前	2	1	2		2				
	光・電子材料実験 II	3前	2	1	2		2				
	分子集合体化学	3後	2		1						
	無機材料化学	3後	2	1							
	高分子計算科学	3後	2		1						
	光・電子材料輪講 II	3後	2	3	2		2				
	光・電子材料輪講 III	4前	2	3	2		2				
光・電子材料輪講 IV	4後	2	3	2		2					
物性工学コース	物性工学演習	3前	2	1							
	有機光・電子物性学	3前	2	1							
	高分子表面科学	3前	2	1							
	レオロジー	3前	2	1							
	高分子固体力学	3前	2	1							
	物性工学輪講 I	3前	2	2	2						
	物性工学実験 I	3前	2	1	3						
	物性工学実験 II	3前	2	1	3						
	高分子計算科学	3後	2		1						
	高分子成形加工学	3後	2	1							
	高分子材料学	3後	2		1						
	物性工学輪講 II	3後	2	4	3		4				
	物性工学輪講 III	4前	2	4	3		4				
物性工学輪講 IV	4後	2	4	3		4					
スタートアップセミナー	スタートアップセミナー	1前	2								
	人間を考える	1前・後	2								
	共生を考える	1前・後	2								
	山形を考える	1前・後	2								
	哲学	1前・後	2								
	心理学	1前・後	2								
	歴史学	1前・後	2								
	文学	1前・後	2								
	芸術	1前・後	2								
	言語学	1前・後	2								
	文化論	1前・後	2								
	法学	1前・後	2								
	経済学	1前・後	2								
社会学	1前・後	2									

科目	キャリア形成特別講義	2前	2							1	
	工業技術概論	3前	2		1					1	
	職業指導 I	3前	2							1	
	職業指導 II	3前	2							1	
	合成化学コース	合成化学演習	3前	2		1					1
		高分子合成化学 I	3前	2		2					1
		高分子合成化学 II	3前	2		2					1
		有機量子化学	3前	2		1					1
		光・電子材料合成化学	3前	2	1	1					1
		合成化学輪講 I	3前	2	3	3					1
		合成化学実験 I	3前	2	2	2		2			1
		合成化学実験 II	3前	2	2	2		2			1
		有機合成化学	3後	2		1					1
分子集合体化学		3後	2		1					1	
無機材料化学	3後	2	1						1		
合成化学輪講 II	3後	2	3	3					1		
合成化学輪講 III	4前	2	3	3					1		
合成化学輪講 IV	4後	2	3	3					1		
光・電子材料コース	光・電子材料演習	3前	2	1							
	有機量子化学	3前	2	1							
	光・電子材料合成化学	3前	2	1	1						
	有機光・電子物性学	3前	2	1							
	高分子表面科学	3前	2	1							
	光・電子材料輪講 I	3前	2	3	1						
	光・電子材料実験 I	3前	2		2				1		
	光・電子材料実験 II	3前	2		2				1		
	分子集合体化学	3後	2		1						
	無機材料化学	3後	2	1							
	高分子計算科学	3後	2		1						
	光・電子材料輪講 II	3後	2	3	1						
	光・電子材料輪講 III	4前	2	3	1						
光・電子材料輪講 IV	4後	2	3	1							
物性工学コース	物性工学演習	3前	2	1							
	有機光・電子物性学	3前	2	1							
	高分子表面科学	3前	2	1							
	レオロジー	3前	2	1							
	高分子固体力学	3前	2	1							
	物性工学輪講 I	3前	2	5	3						
	物性工学実験 I	3前	2	2	3			2			
	物性工学実験 II	3前	2	2	3			2			
	高分子計算科学	3後	2		1						
	高分子成形加工学	3後	2	1							
	高分子材料学	3後	2	1							
	物性工学輪講 II	3後	2	5	3						
	物性工学輪講 III	4前	2	5	3						
物性工学輪講 IV	4後	2	5	3							
スタートアップセミナー	スタートアップセミナー	1前	2								
	人間を考える	1前・後	2								
	共生を考える	1前・後	2								
	山形から考える	1前・後	2								
	哲学	1前・後	2								
	心理学	1前・後	2								
	歴史学	1前・後	2								
	文学	1前・後	2								
	芸術	1前・後	2								
	言語学	1前・後	2								
	文化論	1前・後	2								
	法学	1前・後	2								
	経済学	1前・後	2								
社会学	1前・後	2									

【平成29年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門教育科目	微積分解法	1前		2			1					1
	化学C	1前		2								1
	物理化学基礎	1前		2		1						
	数学C	1後		2								1
	物理学基礎	1後		2		1						1
	有機化学基礎	1後		2		1						
	高分子工学	1後		2			1					
	スキルアップセミナー	2前	1			1						
	基礎専門英語	2前		1			1					
	キャリア形成論	2前		2		1						
	数学 I	2前		2		1						
	数学 II	2前		2			1					
	物理学 I	2前		2			1					
	物理学実験	2前	2			2	2		2			
	有機化学 I	2前		2		1						
	有機化学演習 I	2前	2			1			2			
	物理化学 I	2前		2		1						
	物理化学演習 I	2前	2			1			2			
	化学・バイオ工学概論	2前		2			1					
	情報エレクトロニクス概論	2前		2		1						
	機械システム概論	2前		2		1						
	科学英語	2後		2		1						
	キャリアプランニング	2後		2		1						
	数学IV	2後		2			1					
	物理学 II	2後		2		1						
	有機化学 II	2後		2		1						
	有機化学演習 II	2後	2			1			2			
	物理化学 II	2後		2		1						
	物理化学演習 II	2後	2			1			2			
	合成化学概論	2後		2			1					
	光・電子材料概論	2後		2		1						
	物性工学概論	2後		2		1						
	構造解析・分析法 I	2後		2		1						
	構造解析・分析法 II	2後		2			1					
	高分子・有機材料工学実験	2後	2				2		6			
	ベンチャービジネス論	2後		2								1
	学外実習(インターンシップ) I	3前・後		1		1	2		1			
	学外実習(インターンシップ) II	3前・後		1			2	1	1			
	高分子熱・統計力学	3前		2			1					
	無機化学	3前		2		1						
	知的財産権概論	4前		2								1
	先端高分子工学	3後		1		1						
	環境高分子科学	3後		1		1						
	ソフトマテリアル工学	3後		2		1						
	研究開発プロポーザル	3後	6			12	13		8			
高分子経済学	4前		1								1	
卒業研究	4前・後	10			12	13		8				
特別講義	3・4前・後		2								1	
産業理解特別講義	2前		2								1	
キャリア形成特別講義	2前		2								1	
工業技術概論	3前		2			1					3	
職業指導 I	3前		2								1	
職業指導 II	3前		2								1	
合成化学演習	3前		2			1						
高分子合成化学 I	3前		2		1							

合成化学コース	高分子合成化学Ⅱ	3前	2		1			
	有機量子化学	3前	2		1			
	光・電子材料合成化学	3前	2		1			
	合成化学輪講Ⅰ	3前	2		2	1		
	合成化学実験Ⅰ	3前	2		1	3	3	
	合成化学実験Ⅱ	3前	2		1	3	3	
	有機合成化学	3後	2		1			
	分子集合体化学	3後	2		1			
	無機材料化学	3後	2		1			
	合成化学輪講Ⅱ	3後	2		4	3	3	
	合成化学輪講Ⅲ	4前	2		4	3	3	
	合成化学輪講Ⅳ	4後	2		4	3	3	
光・電子材料コース	光・電子材料演習	3前	2		1			
	有機量子化学	3前	2		1			
	光・電子材料合成化学	3前	2		1			
	有機光・電子物性学	3前	2		1			
	高分子表面科学	3前	2		1			
	光・電子材料輪講Ⅰ	3前	2		1	2		
	光・電子材料実験Ⅰ	3前	2		1	2	2	
	光・電子材料実験Ⅱ	3前	2		1	2	2	
	分子集合体化学	3後	2		1			
	無機材料化学	3後	2		1			
	高分子計算科学	3後	2		1			
	光・電子材料輪講Ⅱ	3後	2		3	2	2	
光・電子材料輪講Ⅲ	4前	2		3	2	2		
光・電子材料輪講Ⅳ	4後	2		3	2	2		
物性工学コース	物性工学演習	3前	2		1			
	有機光・電子物性学	3前	2		1			
	高分子表面科学	3前	2		1			
	レオロジー	3前	2		1			
	高分子固体力学	3前	2		1			
	物性工学輪講Ⅰ	3前	2		2	2		
	物性工学実験Ⅰ	3前	2		1	3		
	物性工学実験Ⅱ	3前	2		1	3		
	高分子計算科学	3後	2		1			
	高分子成形加工学	3後	2		1			
	高分子材料学	3後	2		1			
	物性工学輪講Ⅱ	3後	2		4	3	4	
物性工学輪講Ⅲ	4前	2		4	3	4		
物性工学輪講Ⅳ	4後	2		4	3	4		
スタートアップセミナー	人間を考える	1前・後	2					
	共生を考える	1前・後	2					
	山形から考える	1前・後	2					
	哲学	1前・後	2					
	心理学	1前・後	2					
	歴史学	1前・後	2					
	文学	1前・後	2					
	芸術	1前・後	2					
	言語学	1前・後	2					
	文化論	1前・後	2					
	法学	1前・後	2					
	経済学	1前・後	2					
	社会学	1前・後	2					
	政治学	1前・後	2					
	地理学	1前・後	2					
	社会と倫理	1前・後	2					
	知的財産	1前・後	2					
	日本国憲法	1前・後	2					
教養セミナー	1前・後	2						

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成29年度】

- ・人事異動により、「研究開発プロポーザル」の専任教員等の配置を「教授14」「准教授11」「助教9」から「教授12」「准教授13」「助教8」に変更。
- ・人事異動により、「卒業研究」の専任教員等の配置を「教授14」「准教授11」「助教9」から「教授12」「准教授13」「助教8」に変更。

【平成30年度】

- ・人事異動により、「微積分解法」の専任教員等の配置を「准教授1」「兼任・兼担1」から「兼任・兼担2」に変更。
- ・人事異動により、「物理学基礎」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授4」に変更。
- ・人事異動により、「物理学基礎」の専任教員等の配置を「教授1」「兼任・兼担1」から「兼任・兼担2」に変更。
- ・人事異動により、「有機化学基礎」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授2」「准教授2」に変更。
- ・人事異動により、「高分子工学」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授2」「准教授2」に変更。
- ・人事異動により、「キャリア形成論」の専任教員等の配置を「教授1」から「兼任・兼担1」に変更。
- ・人事異動により、「数学I」の専任教員等の配置を「教授1」から「兼任・兼担1」に変更。
- ・人事異動により、「数学II」の専任教員等の配置を「准教授1」から「兼任・兼担1」に変更。
- ・人事異動により、「物理学I」の専任教員等の配置を「准教授1」から「兼任・兼担1」に変更。
- ・人事異動により、「物理学実験」の専任教員等の配置を「教授2」「准教授2」「助教2」から「兼任・兼担6」に変更。
- ・人事異動により、「有機化学I」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授2」に変更。
- ・人事異動により、「有機化学演習I」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授2」「准教授1」に変更。
- ・人事異動により、「物理化学演習I」の専任教員等の配置を「助教2」から「助教4」に変更。
- ・人事異動により、「化学・バイオ工学概論」の専任教員等の配置を「准教授1」から「兼任・兼担1」に変更。
- ・人事異動により、「情報エレクトロニクス概論」の専任教員等の配置を「教授1」から「兼任・兼担1」に変更。
- ・人事異動により、「機械システム概論」の専任教員等の配置を「教授1」から「兼任・兼担1」に変更。
- ・人事異動により、「キャリアプランニング」の専任教員等の配置を「教授1」から「兼任・兼担1」に変更。
- ・人事異動により、「数学IV」の専任教員等の配置を「准教授1」から「兼任・兼担1」に変更。
- ・人事異動により、「物理学II」の専任教員等の配置を「教授1」から「兼任・兼担1」に変更。
- ・人事異動により、「物理学II」の専任教員等の配置を「教授1」から「准教授2」に変更。
- ・人事異動により、「有機化学演習II」の専任教員等の配置を「教授1」から「准教授3」に変更。
- ・人事異動により、「物理化学II」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授2」に変更。
- ・人事異動により、「物理化学演習II」の専任教員等の配置を「教授1」「助教2」から「教授2」「助教4」に変更。
- ・人事異動により、「構造解析・分析法I」の専任教員等の配置を「教授1」から「兼任・兼担1」に変更。
- ・人事異動により、「高分子・有機材料工学実験」の専任教員等の配置を「准教授2」「助教6」から「教授1」「准教授3」「助教5」に変更。
- ・人事異動により、「研究開発プロポーザル」の専任教員等の配置を「教授12」「准教授13」「助教8」から「教授15」「准教授11」「助教9」「兼任・兼担1」に変更。
- ・人事異動により、「卒業研究」の専任教員等の配置を「教授12」「准教授13」「助教8」「兼任1」から「教授15」「准教授11」「助教9」「兼任・兼担1」に変更。
- ・人事異動により、「工業技術概論」の専任教員等の配置を「准教授1」「兼任・兼担3」から「教授1」「准教授1」「兼任・兼担1」に変更。
- ・人事異動により、「合成化学演習」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授1」「兼任・兼担1」に変更。
- ・人事異動により、「高分子合成化学I」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授2」「兼任・兼担1」に変更。
- ・人事異動により、「高分子合成化学II」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授2」に変更。
- ・人事異動により、「光・電子材料合成化学」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授1」「准教授1」に変更。
- ・人事異動により、「合成化学論講I」の専任教員等の配置を「教授2」「准教授1」から「教授3」「准教授3」に変更。
- ・人事異動により、「合成化学実験I」の専任教員等の配置を「教授1」「准教授3」「助教3」から「准教授2」「助教2」「兼任・兼担1」に変更。
- ・人事異動により、「合成化学実験II」の専任教員等の配置を「教授1」「准教授3」「助教3」から「准教授2」「助教2」「兼任・兼担1」に変更。
- ・人事異動により、「合成化学論講II」の専任教員等の配置を「教授4」「助教3」から「教授3」に変更。
- ・人事異動により、「合成化学論講III」の専任教員等の配置を「教授4」「助教3」から「教授3」に変更。
- ・人事異動により、「合成化学論講IV」の専任教員等の配置を「教授4」「助教3」から「教授3」に変更。
- ・人事異動により、「光・電子材料論講I」の専任教員等の配置を「教授1」「准教授2」から「教授3」「准教授1」に変更。
- ・人事異動により、「光・電子材料実験I」の専任教員等の配置を「教授1」「助教2」から「助教1」に変更。
- ・人事異動により、「光・電子材料実験II」の専任教員等の配置を「教授1」「助教2」から「助教1」に変更。
- ・人事異動により、「光・電子材料論講II」の専任教員等の配置を「准教授2」「助教2」から「准教授1」に変更。
- ・人事異動により、「光・電子材料論講III」の専任教員等の配置を「准教授2」「助教2」から「准教授1」に変更。
- ・人事異動により、「光・電子材料論講IV」の専任教員等の配置を「准教授2」「助教2」から「准教授1」に変更。
- ・人事異動により、「物性工学論講I」の専任教員等の配置を「教授2」「准教授2」から「教授5」「准教授3」に変更。
- ・人事異動により、「物性工学実験I」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授2」「助教2」に変更。
- ・人事異動により、「物性工学実験II」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授2」「助教2」に変更。
- ・職位の変更(昇任)により、「高分子材料学」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・人事異動により、「物性工学論講II」の専任教員等の配置を「教授4」「助教4」から「教授5」に変更。
- ・人事異動により、「物性工学論講III」の専任教員等の配置を「教授4」「助教4」から「教授5」に変更。
- ・人事異動により、「物性工学論講IV」の専任教員等の配置を「教授4」「助教4」から「教授5」に変更。

- (注) ・ 変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を簡条書きで記入してください。変更がない年度は、「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
30 科目	119 科目	0 科目	149 科目	30 科目 [0]	119 科目 [0]	0 科目 [0]	149 科目 [0]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例: 1科目減の場合: △1)

(3) 未開講科目 ※該当なし

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず, 何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については, 記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は, 「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目 ※該当なし

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり, 何らかの理由で廃止 (教育課程から削除) した授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は, 「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

※該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目 (3) と廃止科目 (4) の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計 (A)}} = \frac{0}{149} = \boxed{} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が, 「(3) 未開講科目」と「(4) 廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計				
	校 舎 敷 地	374,451 m ²	0 m ²	0 m ²	374,451 m ²				
	運 動 場 用 地	132,076 m ²	0 m ²	0 m ²	132,076 m ²				
	小 計	506,527 m ²	0 m ²	0 m ²	506,527 m ²				
	そ の 他	7,937,080 m ²	0 m ²	0 m ²	7,937,080 m ²				
	合 計	8,443,607 m ²	0 m ²	0 m ²	8,443,607 m ²				
(2) 校 舎	専 用	205,756 m ²	0 m ²	0 m ²	205,756 m ²				
	(205,756 m ²)	(0 m ²)	(0 m ²)	(205,756 m ²)					
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体			
	118 室	118 室	733 室	18 室 (補助職員 3 人)	3 室 (補助職員 0 人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数					
	工学部 高分子・有機材料工学科			36 室					
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	学科・専攻単位での特定不能なため、大学全体の数	
	工学部 高分子・有機材 料工学科	1,092,869 [318,930] (1,092,869 [318,930])	24,848 [7,051] (24,848 [7,051])	7,954 [6,665] (7,954 [6,665])	6,525 (6,525)	126 (126)	717 (717)		
	計	1,092,869 [318,930] (1,092,869 [318,930])	24,848 [7,051] (24,848 [7,051])	7,954 [6,665] (7,954 [6,665])	6,525 (6,525)	126 (126)	717 (717)		
(6) 図 書 館	面 積		閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体		
	12,975 m ²		1,379 席		1,059,167 冊				
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要					大学全体	
	7,067 m ²		陸上競技場、野球場、サッカー場、テニスコート、水泳プール(50m)、武道場、弓道場、重量拳練習場						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	国費(運営費交付金)による
		教員1人当たり研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円	
	共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円		
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		千円	千円	千円	千円	千円	千円		
学生納付金以外の維持方法の概要									

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成30年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(30)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 AC対象学部等を含む大学等の状況

大学の名 称	山形大学							備 考	
既設学部等の名称	修業年限	入定学員	編入学員	収定 容員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開 設 年 度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍			
人文社会科学部									
人文社会科学科	4	290	3年次 20	1200	学士 (文学, 学術, 法学, 政策科学, 経済学)	1.05	平成29年度	山形県山形市小白川町一丁目4番12号	
人文学部									
人間文化学科	4	—	—	—	学士 (文学)	—	平成8年度	山形県山形市小白川町一丁目4番12号	平成29年より学生募集停止
法経政策学科	4	—	—	—	学士 (法学, 経済学, 政策科学)	—	平成18年度	同上	平成29年より学生募集停止
地域教育文化学部									
地域教育文化学科	4	175	—	700	学士 (教育学, 学術)	1.03	平成24年度	山形県山形市小白川町一丁目4番12号	
児童教育コース	4	80	—	320	学士 (教育学)	1.04	平成24年度	同上	
文化創生コース	4	95	—	380	学士 (学術)	1.00	平成29年度	同上	
異文化交流コース	4	—	—	—	学士 (学術)	—	平成24年度	同上	平成29年より学生募集停止
造形芸術コース	4	—	—	—	学士 (学術)	—	平成24年度	同上	平成29年より学生募集停止
音楽芸術コース	4	—	—	—	学士 (学術)	—	平成24年度	同上	平成29年より学生募集停止
スポーツ文化コース	4	—	—	—	学士 (学術)	—	平成24年度	同上	平成29年より学生募集停止
食環境デザインコース	4	—	—	—	学士 (学術)	—	平成24年度	同上	平成29年より学生募集停止
生活環境科学コース	4	—	—	—	学士 (学術)	—	平成24年度	同上	平成29年より学生募集停止
システム情報学コース	4	—	—	—	学士 (学術)	—	平成24年度	同上	平成29年より学生募集停止
地域教育学科	4	—	—	—	学士 (教育学)	—	平成17年度	同上	平成24年より学生募集停止
生活総合学科	4	—	—	—	学士 (学術)	—	平成17年度	同上	平成24年より学生募集停止
理学部									
理学科	4	210	—	840	学士 (理学)	1.04	平成29年度	山形県山形市小白川町一丁目4番12号	
数理科学科	4	—	—	—	学士 (理学)	—	平成7年度	同上	平成29年より学生募集停止
物理学科	4	—	—	—	学士 (理学)	—	昭和42年度	同上	平成29年より学生募集停止
物質生命化学科	4	—	—	—	学士 (理学)	—	平成7年度	同上	平成29年より学生募集停止
生物学科	4	—	—	—	学士 (理学)	—	昭和42年度	同上	平成29年より学生募集停止
地球環境学科	4	—	—	—	学士 (理学)	—	平成7年度	同上	平成29年より学生募集停止
医学部									
医学科	6	120	—	720	学士 (医学)	1.00	昭和48年度	山形県山形市飯田西二丁目2番2号	
看護学科	4	60	3年次 5	250	学士 (看護学)	1.00	平成5年度	同上	

工学部									
(昼間コース)									
高分子・有機材料工学科	4	140	—	560	学士(工学)	1.04	平成29年度	山形県米沢市城南四丁目3番16号	
化学・バイオ工学科	4	140	—	560	学士(工学)	1.03	平成29年度	同上	
情報・エレクトロニクス学科	4	150	—	600	学士(工学)	1.05	平成29年度	同上	
機械システム工学科	4	140	—	560	学士(工学)	1.05	平成2年度	同上	
建築・デザイン学科	4	30	—	120	学士(工学)	1.04	平成29年度	同上	
機能高分子工学科	4	—	—	—	学士(工学)	—	平成12年度	同上 平成29年より学生募集停止	
物質化学工学科	4	—	—	—	学士(工学)	—	平成12年度	同上 平成29年より学生募集停止	
バイオ化学工学科	4	—	—	—	学士(工学)	—	平成22年度	同上 平成29年より学生募集停止	
応用生命システム工学科	4	—	—	—	学士(工学)	—	平成12年度	同上 平成29年より学生募集停止	
情報科学科	4	—	—	—	学士(工学)	—	平成12年度	同上 平成29年より学生募集停止	
電気電子工学科	4	—	—	—	学士(工学)	—	平成12年度	同上 平成29年より学生募集停止	
(フレックスコース)									
システム創成工学科	4	50	—	200	学士(工学)	1.06	平成22年度	同上	
農学部									
食料生命環境学科	4	165	—	660	学士(農学)	1.01	平成22年度	山形県鶴岡市若葉町1番23号	
大学の名称	山形大学大学院								備考
既設学部等の名称	修業年限	入定員	編入学員	収容員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
社会文化システム研究科 (修士課程)									
文化システム専攻	2	6	—	12	修士(文学)	1.99	平成9年度	山形県山形市小白川町一丁目4番12号	
社会システム専攻	2	6	—	12	修士(政策科学)	0.66	平成9年度	同上	
地域教育文化研究科 (修士課程)									
臨床心理学専攻	2	6	—	12	修士(臨床心理学)	0.99	平成21年度	山形県山形市小白川町一丁目4番12号	
文化創造専攻	2	8	—	16	修士(学術)	0.93	平成21年度	同上	
医学系研究科 (博士課程)									
医学専攻 (博士前期課程)	4	26	—	104	博士(医学)	0.82	昭和54年度	山形県山形市飯田西二丁目2番2号	
看護学専攻	2	16	—	32	修士(看護学)	1.02	平成9年度	同上	
先進的医科学専攻	2	15	—	30	修士(医科学)	0.36	平成29年度	同上	
生命環境医科学専攻	2	—	—	—	修士(医科学)	—	平成16年度	同上 平成29年より学生募集停止	

(博士後期課程)												
看護学専攻	3	3	—	9	博士 (看護学)	0.88	平成19年度	同上				
先進的医科学専攻	3	9	—	27	博士 (医科学)	0.49	平成29年度	同上				
生命環境医科学専攻	3	—	—	—	博士 (医科学)	—	平成16年度	同上				平成29年より学生募集停止
理工学研究科												
(博士前期課程)												
理学専攻	2	53	—	106	修士 (理学)	1.06	平成29年度	山形県山形市小白川町一丁目4番12号				
物質生命化学専攻	2	—	—	—	修士 (理学)	—	平成11年度	同上				平成29年より学生募集停止
生物学専攻	2	—	—	—	修士 (理学)	—	平成11年度	同上				平成29年より学生募集停止
物質化学工学専攻	2	38	—	76	修士 (工学)	1.12	平成16年度	山形県米沢市城南四丁目3番16号				
バイオ化学工学専攻	2	28	—	56	修士 (工学)	1.23	平成22年度	同上				
応用生命システム工学専攻	2	23	—	46	修士 (工学)	1.04	平成16年度	同上				
情報科学専攻	2	28	—	56	修士 (工学)	0.81	平成16年度	同上				
電気電子工学専攻	2	34	—	68	修士 (工学)	1.01	平成16年度	同上				
機械システム工学専攻	2	50	—	100	修士 (工学)	1.44	平成5年度	同上				
ものづくり技術経営学専攻	2	10	—	20	修士 (工学)	0.85	平成17年度	同上				
(博士後期課程)												
地球共生圏科学専攻	3	5	—	15	博士 (理学、工学、学術)	0.66	平成11年度	山形県山形市小白川町一丁目4番12号				
物質化学工学専攻	3	3	—	9	博士 (工学)	1.33	平成28年度	山形県米沢市城南四丁目3番16号				
バイオ工学専攻	3	4	—	12	博士 (工学、学術)	0.58	平成22年度	同上				
電子情報工学専攻	3	4	—	12	博士 (工学、学術)	0.50	平成22年度	同上				
機械システム工学専攻	3	3	—	9	博士 (工学、学術)	1.33	平成22年度	同上				
ものづくり技術経営学専攻	3	2	—	6	博士 (工学、学術)	0.16	平成19年度	同上				
物質生産工学専攻	3	—	—	—	博士 (工学、学術)	—	平成5年度	同上				平成22年より学生募集停止
有機材料工学専攻	3	—	—	—	博士 (工学、学術)	—	平成22年度	同上				平成28年より学生募集停止
有機材料システム研究科												
(博士前期課程)												
有機材料システム専攻	2	65	—	130	修士 (工学)	1.35	平成28年度	山形県米沢市城南四丁目3番16号				
(博士後期課程)												
有機材料システム専攻	3	10	—	30	博士 (工学)	1.00	平成28年度	同上				
農学研究科												
(修士課程)												
生物生産学専攻	2	14	—	28	修士 (農学)	1.14	平成7年度	山形県鶴岡市若葉町1番23号				
生物資源学専攻	2	16	—	32	修士 (農学)	0.84	平成14年度	同上				
生物環境学専攻	2	12	—	24	修士 (農学)	0.54	平成7年度	同上				

教育実践研究科 (専門職学位課程) 教職実践専攻	2	20	—	40	教職修 士 (専任職)	1.00	平成21年度	山形県山形市小白川町 一丁目4番12号
--------------------------------	---	----	---	----	-------------------	------	--------	------------------------

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部、学科)、大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について、それぞれの学校種ごとに、平成30年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織ごと」には、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 ※なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
 - ・専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。
 - ・AC対象学部等については、必ず記入するとともに、下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
 - ・学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「—」とし、「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<工学部 高分子・有機材料工学科>

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】		【平成29年度】		【平成30年度】		【平成31年度】		【平成32年度】	
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	<就任(予定)年月>	氏名 (年齢)	<就任(予定)年月>	氏名 (年齢)	<就任(予定)年月>	氏名 (年齢)	<就任(予定)年月>
			担当授業科目名		担当授業科目名		担当授業科目名		担当授業科目名
専	教授	伊藤 浩志 (51)	<平成29年4月>	伊藤 浩志 (52)	<平成29年4月>	伊藤 浩志 (53)	<平成29年4月>		
			物理学講義Ⅰ 高分子成形加工学 物理学講義Ⅱ 物理学講義Ⅲ 物理学講義Ⅳ 研究開発プロジェクト 卒業研究		物理学講義Ⅰ 高分子成形加工学 物理学講義Ⅱ 物理学講義Ⅲ 物理学講義Ⅳ 研究開発プロジェクト 卒業研究		物理化学基礎 物理化学講義Ⅰ 高分子成形加工学 物理学講義Ⅱ 物理学講義Ⅲ 物理学講義Ⅳ 研究開発プロジェクト 卒業研究		
専	教授	佐野 正人 (59)	<平成29年4月>	佐野 正人 (60)	<平成29年4月>	佐野 正人 (61)	<平成29年4月>		
			光・電子材料実験Ⅰ 光・電子材料実験Ⅱ 光・電子材料実験Ⅲ 光・電子材料実験Ⅳ 研究開発プロジェクト 卒業研究		光・電子材料実験Ⅰ 光・電子材料実験Ⅱ 光・電子材料実験Ⅲ 光・電子材料実験Ⅳ 研究開発プロジェクト 卒業研究		物理化学基礎 物理化学演習Ⅱ 物理化学講義Ⅰ 光・電子材料実験Ⅰ 光・電子材料実験Ⅱ 光・電子材料実験Ⅲ 光・電子材料実験Ⅳ 研究開発プロジェクト 卒業研究		
専	教授	瀧本 淳一 (59)	<平成29年4月>	瀧本 淳一 (60)	<平成29年4月>	瀧本 淳一 (61)	<平成29年4月>		
			物理化学Ⅱ 物理化学演習Ⅱ レオロジー 物理学講義Ⅱ 物理学講義Ⅲ 物理学講義Ⅳ 研究開発プロジェクト 卒業研究		物理化学Ⅱ 物理化学演習Ⅱ レオロジー 物理学講義Ⅱ 物理学講義Ⅲ 物理学講義Ⅳ 研究開発プロジェクト 卒業研究		物理化学基礎 物理化学Ⅱ 物理化学演習Ⅱ レオロジー 物理学講義Ⅰ 物理学講義Ⅱ 物理学講義Ⅲ 物理学講義Ⅳ 研究開発プロジェクト 卒業研究		
専	教授	岡田 修司 (57)	<平成29年4月>	岡田 修司 (58)	<平成29年4月>	岡田 修司 (59)	<平成29年4月>		
			物理学基礎 有機化学基礎 キャリア形成論 数学Ⅰ 物理学実験 有機化学Ⅰ 有機化学演習Ⅰ 情報エレクトロニクス概論 機械システム概論 キャリアプランニング 物理学Ⅱ 高分子合成化学Ⅰ 環境高分子科学 合成化学講義Ⅰ 合成化学講義Ⅱ 合成化学講義Ⅲ 合成化学講義Ⅳ 学外実習(インターンシップ)Ⅰ 学外実習(インターンシップ)Ⅱ 研究開発プロジェクト 卒業研究		物理学基礎 有機化学基礎 キャリア形成論 数学Ⅰ 物理学実験 有機化学Ⅰ 有機化学演習Ⅰ 情報エレクトロニクス概論 機械システム概論 キャリアプランニング 物理学Ⅱ 高分子合成化学Ⅰ 環境高分子科学 合成化学講義Ⅰ 合成化学講義Ⅱ 合成化学講義Ⅲ 合成化学講義Ⅳ 学外実習(インターンシップ)Ⅰ 学外実習(インターンシップ)Ⅱ 研究開発プロジェクト 卒業研究		有機化学基礎 有機化学Ⅰ 有機化学演習Ⅰ 環境高分子科学 高分子合成化学Ⅰ 合成化学講義Ⅰ 合成化学講義Ⅱ 合成化学講義Ⅲ 合成化学講義Ⅳ 学外実習(インターンシップ)Ⅰ 学外実習(インターンシップ)Ⅱ 研究開発プロジェクト 卒業研究		
専	教授	森 秀晴 (50)	<平成29年4月>	森 秀晴 (51)	<平成29年4月>	森 秀晴 (52)	<平成29年4月>		
			物理化学基礎 スキルアップセミナー 有機化学Ⅱ 有機化学演習Ⅱ 合成化学講義Ⅱ 合成化学講義Ⅲ 合成化学講義Ⅳ 研究開発プロジェクト 卒業研究		物理化学基礎 スキルアップセミナー 有機化学Ⅱ 有機化学演習Ⅱ 合成化学講義Ⅱ 合成化学講義Ⅲ 合成化学講義Ⅳ 研究開発プロジェクト 卒業研究		有機化学基礎 スキルアップセミナー 有機化学Ⅱ 有機化学演習Ⅱ 合成化学講義Ⅰ 合成化学講義Ⅱ 合成化学講義Ⅲ 合成化学講義Ⅳ 研究開発プロジェクト 卒業研究		
専	教授	栗山 卓 (59)	<平成29年4月>	栗山 卓 (60)	<平成29年4月>	栗山 卓 (61)	<平成29年4月>		
			高分子固体力学 物理学講義Ⅰ 物理学実験Ⅰ 物理学実験Ⅱ 物理学講義Ⅲ 物理学講義Ⅳ 研究開発プロジェクト 卒業研究		高分子固体力学 物理学講義Ⅰ 物理学実験Ⅰ 物理学実験Ⅱ 物理学講義Ⅲ 物理学講義Ⅳ 研究開発プロジェクト 卒業研究		高分子工学 高分子・有機材料工学実験 高分子固体力学 物理学講義Ⅰ 物理学実験Ⅰ 物理学実験Ⅱ 物理学講義Ⅱ 物理学講義Ⅲ 物理学講義Ⅳ 研究開発プロジェクト 卒業研究		
専	教授	熊木 治郎 (59)	<平成29年4月>	熊木 治郎 (60)	<平成29年4月>	熊木 治郎 (61)	<平成29年4月>		
			ソフトマテリアル工学 高分子表面科学 光・電子材料講義Ⅰ 光・電子材料講義Ⅱ 光・電子材料講義Ⅲ 光・電子材料講義Ⅳ 研究開発プロジェクト 卒業研究		ソフトマテリアル工学 高分子表面科学 光・電子材料講義Ⅰ 光・電子材料講義Ⅱ 光・電子材料講義Ⅲ 光・電子材料講義Ⅳ 研究開発プロジェクト 卒業研究		高分子工学 ソフトマテリアル工学 高分子表面科学 光・電子材料講義Ⅰ 光・電子材料講義Ⅱ 光・電子材料講義Ⅲ 光・電子材料講義Ⅳ 研究開発プロジェクト 卒業研究		

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月 >
		担当授業科目名

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月 >
		担当授業科目名

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月 >
		担当授業科目名

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月 >
		担当授業科目名

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月 >
		担当授業科目名

- ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
- ・ 専任、兼任、兼任の順に記入してください。
- ・ 不要な年度（平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度）の表は適宜削除し、結めてください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【平成29年度】

- ・松井准教授就任（平成28年9月資格審査済）。
- ・長峯准教授就任（平成28年11月資格審査済）。
- ・関根助教就任（平成29年3月資格審査済）。
- ・仁科准教授他専攻へ異動
- ・イブトナー助教他専攻へ異動

【平成30年度】

- ・夫准教授辞任により、千葉助教に変更（平成30年2月資格審査済）。
- ・Milano教授就任（平成29年7月資格審査済）。
- ・山門助教就任（平成29年5月資格審査済）

- (注)
- ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
 - ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
 - ・ 不要な年度（平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時 における設置基準上 の必要教授数
10 名	5 名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	教授	准教授	講師	助教	計 (B)	教授	准教授	講師	助教	計 (C)
13	13	0	7	33	15	11	0	10	36	13	13	0	7	33
(15)	(11)	(0)	(10)	(36)						[0]	[0]	[0]	[0]	[0]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、「現在（報告書提出時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告書提出時（上 記（B））の教員 のうち、定年を延 長して採用してい る教員数	完成年度時（上記 （C））の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65 歳	0 名	0 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）および、平成30年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告書提出時）の完成年度時の計画(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{33}{33} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告書提出時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告書提出時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告書提出時）の状況(B)}} = \frac{0}{36} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) -① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由	
		※該当なし					
合計 (D)			後任補充状況の集計 (E)				
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
0	人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことで、就任した後に辞任した教員は、以下「(3) -②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
1	准教授	夫 勇進	選択	有機量子化学	①	他研究期間へ転任のため (30)	
			選択	分子集合体化学	①		
			必修	研究開発プロポーザル	①		
			必修	卒業研究	①		
			必修	光・電子材料論講 I	①		
合計 (F)			後任補充状況の集計 (G)				
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
1	人	必修	3 科目	必修	3 科目	必修	0 科目
		選択	2 科目	選択	2 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	5 科目	計	5 科目	計	0 科目

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -③ 上記 (3) -① ・ (3) -② の合計

合計 (D) + (F)			後任補充状況の集計 (E) + (G)				
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
1	人	必修	3 科目	必修	3 科目	必修	0 科目
		選択	2 科目	選択	2 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	5 科目	計	5 科目	計	0 科目

(3) -④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D) + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{1}{33} = \boxed{3.03} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
		※該当なし					
合計				後任補充状況の集計			
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
0	人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<p>当該教員が辞任した後、後任を募集し、平成30年12月1日付で千葉助教が就任した。当該教員が担当していた平成29年度の科目は、当該教員自ら非常勤講師として授業を開講した。なお、平成30年度以降は、当該科目を千葉助教が担当する。また、学生への周知については、オリエンテーション、学生便覧及びWeb等で周知徹底を行った。</p>
--

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (平成28年8月)	※該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (平成30年2月)	※該当なし		

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、当該大学に付された意見を全て記入するとともに、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
- ・ 「履行状況」では、履行途中であれば「未履行」、履行済みであれば「履行済」を選択してください。
- ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

7 その他全般的事項

<工学部 高分子・有機材料工学科>

(1) 設置計画変更事項等 ※該当なし

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
記入例) ① 修了要件単位数 1 2 4 単位 必修科目〇〇単位, 選択科目〇〇単位 ② 施設・設備 a 講義室〇室 (〇㎡) b 自習室〇室 (〇㎡) c 図書〇〇冊	① 学生の専門性をより高めるため、必修科目(1科目・2単位)を追加。(別添〇「新旧対象表」参照) ② 学生の修学環境を改善するため、講義室、自習室をそれぞれ〇部屋(〇㎡)増やすとともに、図書も〇〇冊増書した。

(注)・1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策(FD・SD活動含む) ※該当なし

① 実施体制 a 委員会の設置状況 b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む) c 委員会の審議事項等 ② 実施状況 a 実施内容 記入例) ・ 授業方法について研究会 ・ 教員相互の授業参観 ・ 新任教員のための研修会 等 b 実施方法 c 開催状況(教員の参加状況含む) d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況 ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況 a 実施の有無及び実施時期 b 教員や学生への公開状況、方法等

(注)・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 自己点検・評価等に関する事項 ※該当なし

<p>① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見</p> <p>.....</p> <p>② 自己点検・評価報告書</p> <p>a 公表（予定）時期</p> <p>記入例）</p> <ul style="list-style-type: none">・平成30年5月1日 公表 <p>b 公表方法</p> <p>記入例）</p> <ul style="list-style-type: none">・自己点検・評価報告書を刊行し、近隣企業（〇〇社）及び希望があった学生（〇〇名）に各1冊を配布・大学ホームページ上に公開予定（平成30年8月末を予定） <p>③ 認証評価を受ける計画</p> <ul style="list-style-type: none">・平成31年度に評価機関（独立行政法人大学改革支援・学位授与機構）の評価を受けるべく、学内で検討中

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

<p>○ 設置計画履行状況報告書</p> <p>a ホームページに公表（予定）の有無 (<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無)</p> <p>b 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期 (平成30年10月1日)</p>

(注) ・ 「a ホームページに公表（予定）有無」には、5月1日時点で公表している場合、もしくは、今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。
・ 「b 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期」には、「a ホームページに公表（予定）有無」で「有」にマルを記入した場合のみ、時期を記入してください。

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人 山形大学

(2) 大学名

山形大学

(3) 大学の位置

〒992-8510
山形県米沢市城南四丁目3番16号

(〒990-8560
山形県山形市小白川町一丁目4番12号)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	※該当なし		
学長	(コヤマ キヨヒト) 小山清人 (平成26年4月)		
学部長	(イイツカ ヒロシ) 飯塚博 (平成23年9月)		
学科長	(タガヤ ヒデユキ) 多賀谷英幸 (平成29年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
(例) 平成29年度に報告済の内容 → (29)
平成30年度に報告する内容 → (30)
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
 ・ 様式は, 平成27年度開設の4年制の学科の場合(平成30年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
工学部 化学・バイオ工学科	工学関係	4年	140人	— 年次人	560人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度 区分	平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	人 140 (-) [若干人]	人 (-) [若干人]	人 140 (-) [若干人]	人 (-) [若干人]	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	1.03 倍	
志願者数	257 (-) [2]	— (-) [-]	599 (-) [3]	— (-) [-]	() () []	() () []	() () []	() () []		
受験者数	246 (-) [2]	— (-) [-]	576 (-) [3]	— (-) [-]	() () []	() () []	() () []	() () []		
合格者数	168 (-) [1]	— (-) [-]	166 (-) [2]	— (-) [-]	() () []	() () []	() () []	() () []		
B 入学者数	140 (-) [1]	— (-) [-]	151 (-) [2]	— (-) [-]	() () []	() () []	() () []	() () []		
入学定員超過率 B/A	1.00		1.07							

- (注) ・ 数字は, 平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 転入学生は記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「—」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで**記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	140 [1] (-)	- [-] (-)	159 [2] (8)	- [-] (-)	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
2年次	/		131 [1] (-)	- [-] (-)	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
3年次	/		/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
4年次	/		/		/		[] ()	[] ()	
計	140 [1] (-)		290 [3] (8)		[] ()		[] ()		

- (注) ・ 数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由
			入学した年度	退学者数	退学者数のうち留学生数	
平成29年度	140 人	1 人	平成29年度	1 人	0 人	他の教育機関への入学・転学(1人)
平成30年度	290 人	0 人	平成29年度	0 人	0 人	
			平成30年度	0 人	0 人	
平成31年度	人	人	平成29年度	人	人	
			平成30年度	人	人	
			平成31年度	人	人	
平成32年度	人	人	平成29年度	人	人	
			平成30年度	人	人	
			平成31年度	人	人	
			平成32年度	人	人	
合 計	430 人	1 人				

(注)・数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。

- 各年度の在学者数については、該当年度に在学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- 在学者数や退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{1}{140} = \boxed{0.71} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{290} = \boxed{0} \%$$

【平成31年度】

$$\frac{\text{平成31年度の退学者数(a)}}{\text{平成31年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【平成32年度】

$$\frac{\text{平成32年度の退学者数(a)}}{\text{平成32年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<工学部 化学・バイオ工学科>

(1) ① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
各 科 目 共 通	情報エレクトロニクス概論	3後	2								1
	機械システム概論	3後	2								1
	高分子科学	2前	2								1
	キャリアプランニング	2後	2								1
	キャリア形成論	2前	2								1
	微積分解法	1前	2								1
	数学C	1後	2								1
	物理学基礎	1後	2								1
	数学I	2前	2								1
	物理学I	2前	2								1
	物理学実験	2前	2						2		1
	化学数学	2前	2								1
	数学II	2前	2								1
	数学III	2後	2								1
	数学IV	2後	2								1
	物理学II	2後	2								1
	知的財産権概論	2前	2								1
	ベンチャービジネス論	2後	2								1
	科学と技術	3前	2								1
	特別講義	3・4前後	2								1
	産業理解特別講義	2前	2								1
	キャリア形成特別講義	2前	2								1
	工業技術概論	2後	2			1					3
	職業指導I	3前	2								1
	職業指導II	3前	2								1
	学外実習(インターンシップ)I	3前・後	1								1
	学外実習(インターンシップ)II	3前・後	1								1
	化学・バイオ工学基礎III	1後	2				3				
	化学工学量論	2前	2				1				
	移動現象I	2後	2				1				
	反応工学	3前	2			1					
	化学・バイオ工学基礎I	1前	2				2				
	物理化学I	2前	2				1				
	物理化学II	2前	2				1				
物理化学III	2後	2			1				1		
無機化学I	2前	2			1						
無機化学II	2後	2				1					
分析化学	2前	2				1					
化学・バイオ工学基礎II	1前	2			1						
有機化学I	2前	2				2					
有機化学II	2後	2				1					
有機化学III	3前	2			1						
化学・バイオ工学基礎IV	1後	2			1	1					
細胞生物学I	2前	2			1						
細胞生物学II	2後	2				1					
生化学I	2前	2				1					
生化学II	2後	2				1				1	
安全工学	2前	2				1					
品質管理	3前	2			1						

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
各 科 目 共 通	情報エレクトロニクス概論	3後	2								1
	機械システム概論	3後	2								1
	高分子科学	2前	2								1
	キャリアプランニング	2後	2								1
	キャリア形成論	2前	2								1
	微積分解法	1前	2								1
	数学C	1後	2								1
	物理学基礎	1後	2								1
	数学I	2前	2								1
	物理学I	2前	2								1
	物理学実験	2前	2								1
	化学数学	2前	2							2	
	数学II	2前	2								1
	数学III	2後	2								1
	数学IV	2後	2								1
	物理学II	2後	2								1
	知的財産権概論	2前	2								1
	ベンチャービジネス論	2後	2								1
	科学と技術	3前	2								1
	特別講義	3・4前後	2								1
	産業理解特別講義	2前	2								1
	キャリア形成特別講義	2前	2								1
	工業技術概論	2後	2						1		3
	職業指導I	3前	2								1
	職業指導II	3前	2								1
	学外実習(インターンシップ)I	3前・後	1								1
	学外実習(インターンシップ)II	3前・後	1								1
	化学・バイオ工学基礎III	1後	2					3			
	化学工学量論	2前	2				1				
	移動現象I	2後	2				1				
	反応工学	3前	2				1				
	化学・バイオ工学基礎I	1前	2				1	1			
	物理化学I	2前	2				1				
	物理化学II	2前	2				1				
物理化学III	2後	2			1				1		
無機化学I	2前	2			1						
無機化学II	2後	2				1					
分析化学	2前	2				1					
化学・バイオ工学基礎II	1前	2			1						
有機化学I	2前	2				2					
有機化学II	2後	2				1					
有機化学III	3前	2			1						
化学・バイオ工学基礎IV	1後	2			1	1					
細胞生物学I	2前	2			1						
細胞生物学II	2後	2				1					
生化学I	2前	2				1					
生化学II	2後	2				1				1	
安全工学	2前	2				1					
品質管理	3前	2			1						

【平成29年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
各 科 目 共 通	情報エレクトロニクス概論	3後	2									1
	機械システム概論	3後	2									1
	高分子科学	2前	2									1
	キャリアプランニング	2後	2									1
	キャリア形成論	2前	2									1
	微積分解法	1前	2									1
	数学C	1後	2									1
	物理学基礎	1後	2									1
	数学I	2前	2									1
	物理学I	2前	2									1
	物理学実験	2前	2									1
	化学数学	2前	2						2			
	数学II	2前	2									1
	数学III	2後	2									1
	数学IV	2後	2									1
	物理学II	2後	2									1
	知的財産権概論	2前	2									1
	ベンチャービジネス論	2後	2									1
	科学と技術	3前	2									1
	特別講義	3-4前後	2									1
	産業理解特別講義	2前	2									1
	キャリア形成特別講義	2前	2									1
	工業技術概論	2後	2				1					3
	職業指導I	3前	2									1
	職業指導II	3前	2									1
	学外実習(インターシップ)I	3前・後	1									1
	学外実習(インターシップ)II	3前・後	1									1
	化学・バイオ工学基礎III	1後	2					3				
	化学工学量論	2前	2					1				
	移動現象I	2後	2					1				
	反応工学	3前	2				1					
	化学・バイオ工学基礎I	1前	2				1	1				
	物理化学I	2前	2					1				
物理化学II	2前	2					1					
物理化学III	2後	2				1			1			
無機化学I	2前	2				1						
無機化学II	2後	2					1					
分析化学	2前	2					1					
化学・バイオ工学基礎II	1前	2				1						
有機化学I	2前	2					2					
有機化学II	2後	2					1					
有機化学III	3前	2				1						
化学・バイオ工学基礎IV	1後	2				1	1					
細胞生物学I	2前	2				1						
細胞生物学II	2後	2					1					
生化学I	2前	2					1					
生化学II	2後	2					1				1	
安全工学	2前	2					1					
品質管理	3前	2				1						
情報処理概論	2前	2					1		1			
専 門 教 育	環境化学	2後	2				1					
	エネルギー化学	3前	2			1	1					
	マテリアル化学	3後	2				2					
	移動現象II	2後	2				1					
	移動現象III	3前	2				1					

目	科	分離プロセス工学	3後	2		1						
		粉粒体工学	3前	2			1		1		1	
		機器分析学	3後	2	1				1			
		無機工業化学	3前	2		1						
		有機工業化学	2後	2		1						
		食品工学	3後	2	1				1			
		医薬品化学	3後	2		1						
		化粧品学	3前	2	1							
		医用細胞工学	3前	2	1							
		遺伝子工学	3前	2		1						
		微生物工学	2後	2						2		
		生理学	2後	2	1					1		
		再生医工学	3後	2	1							
		感覚細胞工学	3後	2		1						
		化学工学演習	3後	2						2		
		物理化学演習	3後	2	1	2				1		
		無機化学演習	3後	2		3						
		有機化学演習	3後	2	2	2						
		バイオ演習	3後	2		2				2		
		化学実験Ⅱ	3前	2	9	16				7		1
目	科	環境化学	2後	2		1						
		エネルギー化学	3前	2	1	1						
		マテリアル化学	3後	2		2						
		移動現象Ⅱ	2後	2		1						
		移動現象Ⅲ	3前	2		1						
		分離プロセス工学	3後	2		1						
		粉粒体工学	3前	2					1		1	
		機器分析学	3後	2	1				1			
		無機工業化学	3前	2		1						
		有機工業化学	2後	2		1						
		食品工学	3後	2		1			1			
		医薬品化学	3後	2		1						
		化粧品学	3前	2		1						
		医用細胞工学	3前	2	1							
		遺伝子工学	3前	2		1						
		微生物工学	2後	2						2		
		生理学	2後	2	1					1		
		再生医工学	3後	2	1							
		感覚細胞工学	3後	2		1						
		化学工学演習	3後	2						2		
物理化学演習	3後	2	1	2				1				
無機化学演習	3後	2		3								
有機化学演習	3後	2	2	2								
バイオ演習	3後	2		2				2				
バイオ実験	3前	2	2	4				3		1		
目	科	化学・バイオ工学実験	3後	4		11	16		10		2	
		化学基礎実験	2後	2		9	16		7		1	
		化学実験Ⅰ	3前	2		9	16		7		1	
		化学・バイオ工学基礎演習	2前	2		11	16		10		2	
		化学・バイオ工学英語	3後	2		11	16		10		2	
		輪講Ⅰ	4前	2		11	16		10		2	
		輪講Ⅱ	4後	2		11	16		10		2	
		卒業研究	4通	10		11	16		10		2	
目	科	スタートアップセミナー	1前	2								
		人間を考える	1前・後	2								
		共生を考える	1前・後	2								
		山形から考える	1前・後	2								
		哲学	1前・後	2								
		心理学	1前・後	2								
		歴史学	1前・後	2								

基 盤 共 通 教 育 科 目	文学	1前・後	2								
	芸術	1前・後	2								
	言語学	1前・後	2								
	文化論	1前・後	2								
	法学	1前・後	2								
	経済学	1前・後	2								
	社会学	1前・後	2								
	政治学	1前・後	2								
	地理学	1前・後	2								
	社会と倫理	1前・後	2								
	知的財産	1前・後	2								
	日本国憲法	1前・後	2								
	教養セミナー	1前・後	2								
	数理科学	1前・後	2								
	物理学	1前・後	2								
	化学	1前・後	2								
	生物科学	1前・後	2								
	地球科学	1前・後	2								
	教養セミナー	1前・後	2								
	応用	1前・後	2								
	学際	1前・後	2								
	教養セミナー	1前・後	2								
	地域学	1前・後	2								
	教養セミナー	1前・後	2								
	英語1	1前・後	1								
	英語2	2前・後	2								
	英語3	3前・後	2								
	ドイツ語	1前・後	2								
	フランス語	1前・後	2								
	ロシア語	1前・後	2								
	中国語	1前・後	2								
	韓国語	1前・後	2								
	日本語	1前・後	2								
	情報処理	1前・後	2								
	健康・スポーツ科学	1前・後	2								
スポーツ実技	1前・後	1									
スポーツセミナー	1前・後	2									
数理科学	1前・後	2									
物理学	1前・後	2									
化学	1前・後	2									
生物科学	1前・後	2									
地球科学	1前・後	2									
医学	1前・後	2									
工学	1前・後	2									
農学	1前・後	2									
キャリア・デザイン	1前・後	2									
キャリア教育	2前・後	2									

- (注) ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 ・ 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。
 ・ その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。
 ・ 1ページ目には認可時又は届出時と平成30年度の表を記入してください。
 ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。
 (2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成29年度】

- ・職位の変更(昇任)により、「化学・バイオ工学基礎Ⅰ」の専任教員等の配置を「准教授2」から「教授1」「准教授1」に変更。
- ・職位の変更(昇任)により、「食品工学」の専任教員等の配置を「准教授1」「助教1」から「教授1」「助教1」に変更。
- ・職位の変更(昇任)により、「化粧品学」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・人事異動により、「化学・バイオ工学実験」の専任教員等の配置を「教授10」「准教授18」から「教授11」「准教授16」に変更。
- ・人事異動により、「化学・バイオ工学基礎演習」の専任教員等の配置を「教授10」「准教授18」から「教授11」「准教授16」に変更。
- ・人事異動により、「化学・バイオ工学英語」の専任教員等の配置を「教授10」「准教授18」から「教授11」「准教授16」に変更。
- ・人事異動により、「輪講Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授10」「准教授18」から「教授11」「准教授16」に変更。
- ・人事異動により、「輪講Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授10」「准教授18」から「教授11」「准教授16」に変更。
- ・人事異動により、「卒業研究」の専任教員等の配置を「教授10」「准教授18」から「教授11」「准教授16」に変更。

【平成30年度】

- ・職位の変更(昇任)により、「分析化学」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・職位の変更(昇任)により、「生化学Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・職位の変更(昇任)により、「環境化学」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・人事異動により、「化学実験Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授9」「准教授16」「助教7」から「教授11」「准教授13」「助教6」に変更。
- ・職位の変更(昇任)により、「無機化学演習」の専任教員等の配置を「准教授3」から「教授1」「准教授2」に変更。
- ・職位の変更(昇任)により、「バイオ実験」の専任教員等の配置を「教授2」「准教授4」から「教授3」「准教授3」に変更。
- ・人事異動により、「化学・バイオ工学実験」の専任教員等の配置を「准教授16」「助教10」から「准教授14」「助教8」に変更。
- ・人事異動により、「化学基礎実験」の専任教員等の配置を「教授9」「准教授16」「助教7」から「教授11」「准教授13」「助教6」に変更。
- ・人事異動により、「化学実験Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授9」「准教授16」「助教7」から「教授11」「准教授13」「助教6」に変更。
- ・人事異動により、「化学・バイオ工学基礎演習」の専任教員等の配置を「准教授16」「助教10」から「准教授14」「助教8」に変更。
- ・人事異動により、「化学・バイオ工学英語」の専任教員等の配置を「准教授16」「助教10」から「准教授14」「助教8」に変更。
- ・人事異動により、「輪講Ⅰ」の専任教員等の配置を「准教授16」「助教10」から「准教授14」「助教8」に変更。
- ・人事異動により、「輪講Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授16」「助教10」から「准教授14」「助教8」に変更。
- ・人事異動により、「卒業研究」の専任教員等の配置を「准教授16」「助教10」から「准教授14」「助教8」に変更。

- (注) ・ 変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
- ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
13 科目	149 科目	0 科目	162 科目	13 科目 [0]	149 科目 [0]	0 科目 [0]	162 科目 [0]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目 ※該当なし

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず, 何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については, 記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は, 「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目 ※該当なし

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり, 何らかの理由で廃止 (教育課程から削除) した授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は, 「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

※該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目 (3) と廃止科目 (4) の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計 (A)}} = \frac{0}{162} = \boxed{} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が, 「(3) 未開講科目」と「(4) 廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考			
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計				
	校舎敷地	374,451 m ²	0 m ²	0 m ²	374,451 m ²				
	運動場用地	132,076 m ²	0 m ²	0 m ²	132,076 m ²				
	小 計	506,527 m ²	0 m ²	0 m ²	506,527 m ²				
	そ の 他	7,937,080 m ²	0 m ²	0 m ²	7,937,080 m ²				
	合 計	8,443,607 m ²	0 m ²	0 m ²	8,443,607 m ²				
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計				
		205,756 m ² (205,756 m ²)	0 m ² (0 m ²)	0 m ² (0 m ²)	205,756 m ² (205,756 m ²)				
(3) 教 室 等		講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設			
		118 室	118 室	733 室	18 室 (補助職員 3 人)	3 室 (補助職員 0 人)			
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称			室 数				
		工学部 化学・バイオ工学科			39 室				
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	学科・専攻単位での特定不能なため、大学全体の数	
	工学部 化学・バイオ工学科	1,092,869 [318,930] (1,092,869 [318,930])	24,848 [7,051] (24,848 [7,051])	7,954 [6,665] (7,954 [6,665])	6,525 (6,525)	126 (126)	717 (717)		
	計	1,092,869 [318,930] (1,092,869 [318,930])	24,848 [7,051] (24,848 [7,051])	7,954 [6,665] (7,954 [6,665])	6,525 (6,525)	126 (126)	717 (717)		
(6) 図 書 館		面 積		閲 覧 座 席 数	収 納 可 能 冊 数			大学全体	
		12,975 m ²		1,379 席	1,059,167 冊				
(7) 体 育 館		面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体	
		7,067 m ²		陸上競技場、野球場、サッカー場、テニスコート、水泳プール(50m)、武道場、弓道場、重量拳練習場					
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	国費(運営費交付金)による
		教員1人当たり研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円	
	共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円		
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		学生納付金以外の維持方法の概要							

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成30年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(30)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 AC対象学部等を含む大学等の状況

大学の名 称	山形大学							備 考	
既設学部等の名称	修業年限	入 学 員	編入学員	収 容 員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開 設 年 度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍			
人文社会科学部									
人文社会科学科	4	290	3年次 20	1200	学士 (文学, 学術, 法学, 政策科学, 経済学)	1.05	平成29年度	山形県山形市小白川町一丁目4番12号	
人文学部									
人間文化学科	4	—	—	—	学士 (文学)	—	平成8年度	山形県山形市小白川町一丁目4番12号	平成29年より学生募集停止
法経政策学科	4	—	—	—	学士 (法学, 経済学, 政策科学)	—	平成18年度	同上	平成29年より学生募集停止
地域教育文化学部									
地域教育文化学科	4	175	—	700	学士 (教育学, 学術)	1.03	平成24年度	山形県山形市小白川町一丁目4番12号	
児童教育コース	4	80	—	320	学士 (教育学)	1.04	平成24年度	同上	
文化創生コース	4	95	—	380	学士 (学術)	1.00	平成29年度	同上	
異文化交流コース	4	—	—	—	学士 (学術)	—	平成24年度	同上	平成29年より学生募集停止
造形芸術コース	4	—	—	—	学士 (学術)	—	平成24年度	同上	平成29年より学生募集停止
音楽芸術コース	4	—	—	—	学士 (学術)	—	平成24年度	同上	平成29年より学生募集停止
スポーツ文化コース	4	—	—	—	学士 (学術)	—	平成24年度	同上	平成29年より学生募集停止
食環境デザインコース	4	—	—	—	学士 (学術)	—	平成24年度	同上	平成29年より学生募集停止
生活環境科学コース	4	—	—	—	学士 (学術)	—	平成24年度	同上	平成29年より学生募集停止
システム情報学コース	4	—	—	—	学士 (学術)	—	平成24年度	同上	平成29年より学生募集停止
地域教育学科	4	—	—	—	学士 (教育学)	—	平成17年度	同上	平成24年より学生募集停止
生活総合学科	4	—	—	—	学士 (学術)	—	平成17年度	同上	平成24年より学生募集停止
理学部									
理学科	4	210	—	840	学士 (理学)	1.04	平成29年度	山形県山形市小白川町一丁目4番12号	
数理科学科	4	—	—	—	学士 (理学)	—	平成7年度	同上	平成29年より学生募集停止
物理学科	4	—	—	—	学士 (理学)	—	昭和42年度	同上	平成29年より学生募集停止
物質生命化学科	4	—	—	—	学士 (理学)	—	平成7年度	同上	平成29年より学生募集停止
生物学科	4	—	—	—	学士 (理学)	—	昭和42年度	同上	平成29年より学生募集停止
地球環境学科	4	—	—	—	学士 (理学)	—	平成7年度	同上	平成29年より学生募集停止
医学部									
医学科	6	120	—	720	学士 (医学)	1.00	昭和48年度	山形県山形市飯田西二丁目2番2号	
看護学科	4	60	3年次 5	250	学士 (看護学)	1.00	平成5年度	同上	

(博士後期課程)													
看護学専攻	3	3	—	9	博士 (看護学)	0.88	平成19年度	同上					
先進的医科学専攻	3	9	—	27	博士 (医科学)	0.49	平成29年度	同上					
生命環境医科学専攻	3	—	—	—	博士 (医科学)	—	平成16年度	同上					平成29年より学生募集停止
理工学研究科													
(博士前期課程)													
理学専攻	2	53	—	106	修士 (理学)	1.06	平成29年度	山形県山形市小白川町一丁目4番12号					
物質生命化学専攻	2	—	—	—	修士 (理学)	—	平成11年度	同上					平成29年より学生募集停止
生物学専攻	2	—	—	—	修士 (理学)	—	平成11年度	同上					平成29年より学生募集停止
物質化学工学専攻	2	38	—	76	修士 (工学)	1.12	平成16年度	山形県米沢市城南四丁目3番16号					
バイオ化学工学専攻	2	28	—	56	修士 (工学)	1.23	平成22年度	同上					
応用生命システム工学専攻	2	23	—	46	修士 (工学)	1.04	平成16年度	同上					
情報科学専攻	2	28	—	56	修士 (工学)	0.81	平成16年度	同上					
電気電子工学専攻	2	34	—	68	修士 (工学)	1.01	平成16年度	同上					
機械システム工学専攻	2	50	—	100	修士 (工学)	1.44	平成5年度	同上					
ものづくり技術経営学専攻	2	10	—	20	修士 (工学)	0.85	平成17年度	同上					
(博士後期課程)													
地球共生圏科学専攻	3	5	—	15	博士 (理学、工学、学術)	0.66	平成11年度	山形県山形市小白川町一丁目4番12号					
物質化学工学専攻	3	3	—	9	博士 (工学)	1.33	平成28年度	山形県米沢市城南四丁目3番16号					
バイオ工学専攻	3	4	—	12	博士 (工学、学術)	0.58	平成22年度	同上					
電子情報工学専攻	3	4	—	12	博士 (工学、学術)	0.50	平成22年度	同上					
機械システム工学専攻	3	3	—	9	博士 (工学、学術)	1.33	平成22年度	同上					
ものづくり技術経営学専攻	3	2	—	6	博士 (工学、学術)	0.16	平成19年度	同上					
物質生産工学専攻	3	—	—	—	博士 (工学、学術)	—	平成5年度	同上					平成22年より学生募集停止
有機材料工学専攻	3	—	—	—	博士 (工学、学術)	—	平成22年度	同上					平成28年より学生募集停止
有機材料システム研究科													
(博士前期課程)													
有機材料システム専攻	2	65	—	130	修士 (工学)	1.35	平成28年度	山形県米沢市城南四丁目3番16号					
(博士後期課程)													
有機材料システム専攻	3	10	—	30	博士 (工学)	1.00	平成28年度	同上					
農学研究科													
(修士課程)													
生物生産学専攻	2	14	—	28	修士 (農学)	1.14	平成7年度	山形県鶴岡市若葉町1番23号					
生物資源学専攻	2	16	—	32	修士 (農学)	0.84	平成14年度	同上					
生物環境学専攻	2	12	—	24	修士 (農学)	0.54	平成7年度	同上					

教育実践研究科 (専門職学位課程) 教職実践専攻	2	20	—	40	教職修 士 (<small>（専任職）</small>)	1.00	平成21年度	山形県山形市小白川町 一丁目4番12号
--------------------------------	---	----	---	----	--------------------------------------	------	--------	------------------------

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部、学科)、大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について、それぞれの学校種ごとに、平成30年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織ごと」には、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 ※なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
 - ・専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。
 - ・AC対象学部等については、必ず記入するとともに、下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
 - ・学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「—」とし、「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<工学部 化学・バイオ工学科>

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】		【平成29年度】		【平成30年度】		【平成31年度】		【平成32年度】	
専任・兼任・兼任の別	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名
専	伊藤 和明 (52) <平成29年4月> 化学・バイオ工学基礎Ⅱ 有機化学演習 化学実験Ⅱ 化学基礎実験 化学実験Ⅰ 化学・バイオ工学実験 化学・バイオ工学基礎演習 化学・バイオ工学英語 輪講Ⅰ 輪講Ⅱ 卒業研究	専	伊藤 和明 (53) <平成29年4月> 化学・バイオ工学基礎Ⅱ 有機化学演習 化学実験Ⅱ 化学基礎実験 化学実験Ⅰ 化学・バイオ工学実験 化学・バイオ工学基礎演習 化学・バイオ工学英語 輪講Ⅰ 輪講Ⅱ 卒業研究	専	伊藤 和明 (54) <平成29年4月> 化学・バイオ工学基礎Ⅱ 有機化学演習 化学実験Ⅱ 化学基礎実験 化学実験Ⅰ 化学・バイオ工学実験 化学・バイオ工学基礎演習 化学・バイオ工学英語 輪講Ⅰ 輪講Ⅱ 卒業研究				
専	阿部 宏之 (56) <平成29年4月> 化学・バイオ工学基礎Ⅳ 細胞生物学Ⅰ 医用細胞工学 バイオ実験 化学・バイオ工学実験 化学・バイオ工学基礎演習 化学・バイオ工学英語 輪講Ⅰ 輪講Ⅱ 卒業研究 化学実験Ⅱ 化学基礎実験 化学実験Ⅰ	専	阿部 宏之 (57) <平成29年4月> 化学・バイオ工学基礎Ⅳ 細胞生物学Ⅰ 医用細胞工学 バイオ実験 化学・バイオ工学実験 化学・バイオ工学基礎演習 化学・バイオ工学英語 輪講Ⅰ 輪講Ⅱ 卒業研究 化学実験Ⅱ 化学基礎実験 化学実験Ⅰ	専	阿部 宏之 (58) <平成29年4月> 化学・バイオ工学基礎Ⅳ 細胞生物学Ⅰ 医用細胞工学 バイオ実験 化学・バイオ工学実験 化学・バイオ工学基礎演習 化学・バイオ工学英語 輪講Ⅰ 輪講Ⅱ 卒業研究 化学実験Ⅱ 化学基礎実験 化学実験Ⅰ				
専	會田 忠弘 (59) <平成29年4月> 反応工学 化学実験Ⅱ 化学基礎実験 化学実験Ⅰ 化学・バイオ工学実験 化学・バイオ工学基礎演習 化学・バイオ工学英語 輪講Ⅰ 輪講Ⅱ 卒業研究	専	會田 忠弘 (60) <平成29年4月> 反応工学 化学実験Ⅱ 化学基礎実験 化学実験Ⅰ 化学・バイオ工学実験 化学・バイオ工学基礎演習 化学・バイオ工学英語 輪講Ⅰ 輪講Ⅱ 卒業研究	専	會田 忠弘 (61) <平成29年4月> 反応工学 化学実験Ⅱ 化学基礎実験 化学実験Ⅰ 化学・バイオ工学実験 化学・バイオ工学基礎演習 化学・バイオ工学英語 輪講Ⅰ 輪講Ⅱ 卒業研究				
専	神戸 士郎 (56) <平成29年4月> 物理化学Ⅲ 物理化学演習 化学実験Ⅱ 化学基礎実験 化学実験Ⅰ 化学・バイオ工学実験 化学・バイオ工学基礎演習 化学・バイオ工学英語 輪講Ⅰ 輪講Ⅱ 卒業研究	専	神戸 士郎 (57) <平成29年4月> 物理化学Ⅲ 物理化学演習 化学実験Ⅱ 化学基礎実験 化学実験Ⅰ 化学・バイオ工学実験 化学・バイオ工学基礎演習 化学・バイオ工学英語 輪講Ⅰ 輪講Ⅱ 卒業研究	専	神戸 士郎 (58) <平成29年4月> 物理化学Ⅲ 物理化学演習 化学実験Ⅱ 化学基礎実験 化学実験Ⅰ 化学・バイオ工学実験 化学・バイオ工学基礎演習 化学・バイオ工学英語 輪講Ⅰ 輪講Ⅱ 卒業研究				
専	鷗沼 英郎 (57) <平成29年4月> 無機化学Ⅰ 化学実験Ⅱ 化学基礎実験 化学実験Ⅰ 化学・バイオ工学実験 化学・バイオ工学基礎演習 化学・バイオ工学英語 輪講Ⅰ 輪講Ⅱ 卒業研究	専	鷗沼 英郎 (58) <平成29年4月> 無機化学Ⅰ 化学実験Ⅱ 化学基礎実験 化学実験Ⅰ 化学・バイオ工学実験 化学・バイオ工学基礎演習 化学・バイオ工学英語 輪講Ⅰ 輪講Ⅱ 卒業研究	専	鷗沼 英郎 (59) <平成29年4月> 無機化学Ⅰ 化学実験Ⅱ 化学基礎実験 化学実験Ⅰ 化学・バイオ工学実験 化学・バイオ工学基礎演習 化学・バイオ工学英語 輪講Ⅰ 輪講Ⅱ 卒業研究				
専	落合 文吾 (44) <平成29年4月> 有機化学Ⅲ 機器分析学 有機化学演習 化学実験Ⅱ 化学基礎実験 化学実験Ⅰ 化学・バイオ工学実験 化学・バイオ工学基礎演習 化学・バイオ工学英語 輪講Ⅰ 輪講Ⅱ 卒業研究	専	落合 文吾 (45) <平成29年4月> 有機化学Ⅲ 機器分析学 有機化学演習 化学実験Ⅱ 化学基礎実験 化学実験Ⅰ 化学・バイオ工学実験 化学・バイオ工学基礎演習 化学・バイオ工学英語 輪講Ⅰ 輪講Ⅱ 卒業研究	専	落合 文吾 (46) <平成29年4月> 有機化学Ⅲ 機器分析学 有機化学演習 化学実験Ⅱ 化学基礎実験 化学実験Ⅰ 化学・バイオ工学実験 化学・バイオ工学基礎演習 化学・バイオ工学英語 輪講Ⅰ 輪講Ⅱ 卒業研究				
専	仁科 展夫 (59) <平成29年4月> 品質管理 エネルギー化学 化学実験Ⅱ 化学基礎実験 化学実験Ⅰ 化学・バイオ工学実験 化学・バイオ工学基礎演習 化学・バイオ工学英語 輪講Ⅰ 輪講Ⅱ 卒業研究	専	仁科 展夫 (60) <平成29年4月> 品質管理 エネルギー化学 化学実験Ⅱ 化学基礎実験 化学実験Ⅰ 化学・バイオ工学実験 化学・バイオ工学基礎演習 化学・バイオ工学英語 輪講Ⅰ 輪講Ⅱ 卒業研究	専	仁科 展夫 (61) <平成29年4月> 品質管理 エネルギー化学 化学実験Ⅱ 化学基礎実験 化学実験Ⅰ 化学・バイオ工学実験 化学・バイオ工学基礎演習 化学・バイオ工学英語 輪講Ⅰ 輪講Ⅱ 卒業研究				

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	教授	日高 貴志夫 (56) <平成29年4月>	兼任	教授	日高 貴志夫 (59) <平成29年4月>	兼任	教授	日高 貴志夫 (60) <平成29年4月>						
		職業指導Ⅰ 職業指導Ⅱ			職業指導Ⅰ 職業指導Ⅱ			職業指導Ⅰ 職業指導Ⅱ						
兼任	准教授	野田 博行 (56) <平成29年4月>	兼任	准教授	野田 博行 (57) <平成29年4月>	兼任	准教授	野田 博行 (58) <平成29年4月>						
		科学と技術			科学と技術			科学と技術						
兼任	教授	小島 武夫 (48) <平成29年4月>	兼任	教授	小島 武夫 (49) <平成29年4月>	兼任	教授	小島 武夫 (50) <平成29年4月>						
		微積分解法 数学C			微積分解法 数学C			微積分解法 数学C						
兼任	教授	加藤 宏朗 (60) <平成29年4月>	兼任	教授	加藤 宏朗 (61) <平成29年4月>	兼任	教授	加藤 宏朗 (62) <平成29年4月>						
		物理学基礎 物理学Ⅰ			物理学基礎 物理学Ⅰ			物理学基礎 物理学Ⅰ						
兼任	教授	小野 浩幸 (56) <平成29年4月>	兼任	教授	小野 浩幸 (57) <平成29年4月>	兼任	教授	小野 浩幸 (58) <平成29年4月>						
		キャリア形成論 キャリアプランニング 知的財産権概論 ベンチャービジネス論 特別講義 産業理解特別講義 キャリア形成特別講義			キャリア形成論 キャリアプランニング 知的財産権概論 ベンチャービジネス論 特別講義 産業理解特別講義 キャリア形成特別講義			キャリア形成論 キャリアプランニング 知的財産権概論 ベンチャービジネス論 特別講義 産業理解特別講義 キャリア形成特別講義						
兼任	准教授	中西 為雄 (54) <平成29年4月>	兼任	准教授	中西 為雄 (55) <平成29年4月>	兼任	准教授	中西 為雄 (56) <平成29年4月>						
		機械システム概論			機械システム概論			機械システム概論						
兼任	准教授	早田 孝博 (35) <平成29年4月>	兼任	准教授	早田 孝博 (35) <平成29年4月>	兼任	准教授	早田 孝博 (35) <平成29年4月>						
		数学Ⅰ 数学Ⅱ 数学Ⅲ 数学Ⅳ 論議Ⅰ 論議Ⅱ 卒業研究			数学Ⅰ 数学Ⅱ 数学Ⅲ 数学Ⅳ 論議Ⅰ 論議Ⅱ 卒業研究			数学Ⅰ 数学Ⅱ 数学Ⅲ 数学Ⅳ 論議Ⅰ 論議Ⅱ 卒業研究						
兼任	准教授	小池 郭博 (50) <平成29年4月>	兼任	准教授	小池 郭博 (51) <平成29年4月>	兼任	准教授	小池 郭博 (52) <平成29年4月>						
		物理学Ⅱ 工業技術概論 論議Ⅰ 論議Ⅱ 卒業研究			物理学Ⅱ 工業技術概論 論議Ⅰ 論議Ⅱ 卒業研究			物理学Ⅱ 工業技術概論 論議Ⅰ 論議Ⅱ 卒業研究						
兼任	准教授	安達 義也 (55) <平成29年4月>	兼任	准教授	安達 義也 (55) <平成29年4月>	兼任	准教授	安達 義也 (56) <平成29年4月>						
		情報科学特別講義 エレクトロニクス特別講義			情報科学特別講義 エレクトロニクス特別講義			工業技術概論 化学・バイオ工学実験 化学基礎実験 化学実験Ⅰ 化学・バイオ工学基礎演習 化学・バイオ工学英語						
兼任	准教授	大槻 恭士 (51) <平成29年4月>	兼任	准教授	大槻 恭士 (52) <平成29年4月>	兼任	准教授	大槻 恭士 (53) <平成29年4月>						
		情報科学特別講義 エレクトロニクス特別講義			情報科学特別講義 エレクトロニクス特別講義			工業技術概論 化学・バイオ工学実験 化学・バイオ工学基礎演習 化学・バイオ工学英語						

- (注) ・ 申請書又は届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
・ 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。
その上で、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。**
・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
・ 専任、兼任、兼任の順に記入してください。
・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【平成29年度】

特になし

【平成30年度】

・藤原助教就任（平成29年9月資格審査済）。

- (注)
- ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
 - ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
 - ・ 不要な年度（平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時 における設置基準上 の必要教授数
10 名	5 名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	教授	准教授	講師	助教	計 (B)	教授	准教授	講師	助教	計 (C)
10	16	0	10	36	13	14	0	11	38	10	16	0	10	36
(13)	(14)	(0)	(11)	(38)						[0]	[0]	[0]	[0]	[0]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、「現在（報告書提出時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告書提出時（上 記（B））の教員 のうち、定年を延 長して採用してい る教員数	完成年度時（上記 （C））の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65 歳	0 名	0 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）および、平成30年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告書提出時）の完成年度時の計画(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{36}{36} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告書提出時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告書提出時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告書提出時）の状況(B)}} = \frac{0}{38} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) -① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由	
		※該当なし					
合計 (D)			後任補充状況の集計 (E)				
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
0	人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) -②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
		※該当なし					
合計 (F)			後任補充状況の集計 (G)				
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
0	人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -③ 上記 (3) -① ・ (3) -② の合計

合計 (D) + (F)			後任補充状況の集計 (E) + (G)				
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
0	人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

(3) -④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計 (D) + (F)}}{(2) - ② \text{設置時の計画 (A)}} = \frac{0}{36} = \boxed{0} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) -⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
※該当なし							
合計				後任補充状況の集計			
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
0	人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および () 書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する (している) 場合は「①」
- ・ 兼任兼任教員が担当する (している) 場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

※該当なし

- (注) ・ 上記 (3) の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (平成28年8月)	※該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (平成30年2月)	※該当なし		

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、当該大学に付された意見を全て記入するとともに、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
- ・ 「履行状況」では、履行途中であれば「未履行」、履行済みであれば「履行済」を選択してください。
- ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

7 その他全般的事項

<工学部 化学・バイオ工学科>

(1) 設置計画変更事項等 ※該当なし

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
記入例) ① 修了要件単位数 1 2 4 単位 必修科目〇〇単位, 選択科目〇〇単位 ② 施設・設備 a 講義室〇室 (〇㎡) b 自習室〇室 (〇㎡) c 図書〇〇冊	① 学生の専門性をより高めるため、必修科目(1科目・2単位)を追加。(別添〇「新旧対象表」参照) ② 学生の修学環境を改善するため、講義室、自習室をそれぞれ〇部屋(〇㎡)増やすとともに、図書も〇〇冊増書した。

(注)・1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策(FD・SD活動含む) ※該当なし

① 実施体制 a 委員会の設置状況 b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む) c 委員会の審議事項等 ② 実施状況 a 実施内容 記入例) ・ 授業方法について研究会 ・ 教員相互の授業参観 ・ 新任教員のための研修会 等 b 実施方法 c 開催状況(教員の参加状況含む) d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況 ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況 a 実施の有無及び実施時期 b 教員や学生への公開状況、方法等

(注)・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 自己点検・評価等に関する事項 ※該当なし

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

.....

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

記入例）

- ・平成30年5月1日 公表

b 公表方法

記入例）

- ・自己点検・評価報告書を刊行し、近隣企業（〇〇社）及び希望があった学生（〇〇名）に各1冊を配布
- ・大学ホームページ上に公開予定（平成30年8月末を予定）

③ 認証評価を受ける計画

- ・平成31年度に評価機関（独立行政法人大学改革支援・学位授与機構）の評価を受けるべく、学内で検討中

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表（予定）の有無 (有 ・ 無)

b 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期 (平成30年10月1日)

(注) ・ 「a ホームページに公表（予定）有無」には、5月1日時点で公表している場合、もしくは、今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。
・ 「b 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期」には、「a ホームページに公表（予定）有無」で「有」にマルを記入した場合のみ、時期を記入してください。

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人 山形大学

(2) 大学名

山形大学

(3) 大学の位置

〒992-8510
山形県米沢市城南四丁目3番16号

(〒990-8560
山形県山形市小白川町一丁目4番12号)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	※該当なし		
学長	(コヤマ キヨヒト) 小山清人 (平成26年4月)		
学部長	(イイツカ ヒロシ) 飯塚博 (平成23年9月)		
学科長	(コサカ テツオ) 小坂哲夫 (平成29年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
(例) 平成29年度に報告済の内容 → (29)
平成30年度に報告する内容 → (30)
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
 ・ 様式は, 平成27年度開設の4年制の学科の場合(平成30年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
工学部 情報・エレクトロニクス学科	工学関係	4年	150人	— 年次人	600人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度		平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	150 (—) [若干人]	—	150 (—) [若干人]	—	() []	() []	() []	() []	1.05 倍	
志願者数	385 (—) [2]	— (—) [—]	373 (—) [11]	— (—) [—]	() []	() []	() []	() []		
受験者数	364 (—) [2]	— (—) [—]	359 (—) [11]	— (—) [—]	() []	() []	() []	() []		
合格者数	177 (—) [1]	— (—) [—]	169 (—) [3]	— (—) [—]	() []	() []	() []	() []		
B 入学者数	158 (—) [1]	— (—) [—]	159 (—) [2]	— (—) [—]	() []	() []	() []	() []		
入学定員超過率 B/A	1.05		1.06							

- (注) ・ 数字は, 平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 転入学生は記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「—」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入**してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, **計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。**

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	159 [2] (-)	- [-] (-)	172 [2] (13)	- [-] (-)	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	在学者には政府派遣留学生を含む。 ・平成29年度 1人
2年次	/		146 [2] (-)	- [-] (-)	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
3年次	/		/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
4年次	/		/		/		[] ()	[] ()	
計	159 [2] (-)		318 [4] (-)		[] ()		[] ()		

- (注) ・ 数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由
			入学した年度	退学者数	退学者数のうち留学生数	
平成29年度	159 人	0 人	平成29年度	0 人	0 人	
平成30年度	318 人	0 人	平成29年度	0 人	0 人	
			平成30年度	0 人	0 人	
平成31年度	人	人	平成29年度	人	人	
			平成30年度	人	人	
			平成31年度	人	人	
平成32年度	人	人	平成29年度	人	人	
			平成30年度	人	人	
			平成31年度	人	人	
			平成32年度	人	人	
合 計	477 人	0 人				

(注)・数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。

- 各年度の在学者数については、該当年度に在学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- 在学者数や退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{159} = \boxed{0} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{318} = \boxed{0} \%$$

【平成31年度】

$$\frac{\text{平成31年度の退学者数(a)}}{\text{平成31年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【平成32年度】

$$\frac{\text{平成32年度の退学者数(a)}}{\text{平成32年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<工学部 情報・エレクトロニクス学科>

(1) ① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	微積分解法	1前		2		1						1
	化学C	1前		2								1
	情報エレクトロニクス入門	1前	2				3			1		
	数学C	1後		2								1
	物理学基礎	1後		2		1						1
	専門数学Ⅱ	1後		2		1	1					
	数学Ⅰ	2前		2								1
	数学Ⅱ	2前		2								1
	確率統計学	2前		2			1					
	物理学Ⅰ	2前		2		1						1
	物理学実験	2前	2				2					
	電磁気学Ⅰ	2前		2		1	1					
	電気回路Ⅰ	2前		2		1	1					
	キャリア形成論	2前		2		1						
	計算機基礎	2前		2						1		
	数学Ⅲ	2後		2		1						
	数学Ⅳ	2後		2			1					
	物理学Ⅱ	2後		2		2	1					1
	キャリアプランニング	2後		2		1						
	ソフトウェア工学	2後		2			1					
	線形システム基礎	2後		2			1					
	化学・バイオ工学概論	3前		2								1
	機械システム概論	3前		2							2	
	高分子科学	3前		2								3
融合教育領域	電子回路Ⅰ	3前		2		1	1			1		
	計算機アーキテクチャ	3前		2						1		
	計算機ハードウェア	3前		2		1						
	信号処理	3前		2			1					
	データ通信	3前		2			1					
	デジタル回路	3前		2		1						
	センシング工学	3前		2		1						
	ベンチャービジネス論	2後		2								1
	情報化社会と職業	3前		2		1	1					
	情報システム設計とOS	3後		2		1						
	マイクロプロセッサとインタフェース	3後		2		1						
	デジタル画像処理	3後		2			1					
	制御システム工学	3後		2		2						
	PBL演習Ⅱ	3後	2			15	17			9		
	科学と技術	3前		2								1
	工業技術概論	3前		2		1	2					
	職業指導Ⅰ	2前		2								1
	職業指導Ⅱ	2前		2								1
	知的財産権概論	3前		2								
	情報ネットワーク工学	4前		2		1						
パターン認識と機械学習	4前		2		1							
暗号と情報セキュリティ	4前		2			1						
通信システム	4前		2		1							
卒業研究	4前・後	10			15	17			9			
特別講義	3・4前後		2								1	

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	微積分解法	1前		2		1						1
	化学C	1前		2								1
	情報エレクトロニクス入門	1前	2				1	1				
	数学C	1後		2								1
	物理学基礎	1後		2		1						1
	専門数学Ⅱ	1後		2			2					
	数学Ⅰ	2前		2								1
	数学Ⅱ	2前		2								1
	確率統計学	2前		2				1				
	物理学Ⅰ	2前		2		1						1
	物理学実験	2前	2				2					1
	電磁気学Ⅰ	2前		2		1	1					
	電気回路Ⅰ	2前		2		1	2					
	キャリア形成論	2前		2		1						1
	計算機基礎	2前		2						1		
	数学Ⅲ	2後		2		1						
	数学Ⅳ	2後		2			1					1
	物理学Ⅱ	2後		2		2	1					1
	キャリアプランニング	2後		2		1						1
	ソフトウェア工学	2後		2			1					
	線形システム基礎	2後		2			1					
	化学・バイオ工学概論	3前		2								1
	機械システム概論	3前		2							2	
	高分子科学	3前		2								3
融合教育領域	電子回路Ⅰ	3前		2		1	1			1		
	計算機アーキテクチャ	3前		2						1		
	計算機ハードウェア	3前		2		1						
	信号処理	3前		2			1					
	データ通信	3前		2			1					
	デジタル回路	3前		2		1						
	センシング工学	3前		2		1						
	ベンチャービジネス論	2後		2								1
	情報化社会と職業	3前		2		1	1					
	情報システム設計とOS	3後		2		1						
	マイクロプロセッサとインタフェース	3後		2		1						
	デジタル画像処理	3後		2			1					
	制御システム工学	3後		2		2						
	PBL演習Ⅱ	3後	2			15	17			8		
	科学と技術	3前		2								1
	工業技術概論	3前		2		1	2					
	職業指導Ⅰ	2前		2								1
	職業指導Ⅱ	2前		2								1
	知的財産権概論	3前		2								
	情報ネットワーク工学	4前		2		1						
パターン認識と機械学習	4前		2		1							
暗号と情報セキュリティ	4前		2			1						
通信システム	4前		2		1							
卒業研究	4前・後	10			15	17			8			
特別講義	3・4前後		2								1	

専 門 教 育 科 目	産業理解特別講義	2前							1	
	キャリア形成特別講義	2前							1	
	学外実習(インターンシップ)Ⅰ	3前・後							1	
	学外実習(インターンシップ)Ⅱ	3前・後							1	
	情報									
	・									
	知									
	能									
	コ									
	ー									
	ス									
	専門数学Ⅰ(情報・知能)	1後	2			1				
	情報数学Ⅰ	2前	2		1					
	マルチメディア入門	2前	2		1					
	情報科学演習	2前	2		8	8		5		
	プログラミング演習Ⅰ(情報・知能)	2前	4		1					
	PBL演習Ⅰ(情報・知能)	2前	2		1	1				
	データ構造とアルゴリズム	2後	2		1					
	情報理論	2後	2			1				
	論理回路	2後	2			1				
	情報数学Ⅱ	2後	2			1				
	応用確率論	2後	2		1					
	オートマトンと言語理論	2後	2			1				
	プログラミング演習Ⅱ(情報・知能)	2後	4		1					
	情報科学実習Ⅰ	3前	2					3		
	プログラミング演習Ⅲ	3前	4		1			1		
	プログラミング言語	3前	2		1					
	数値解析	3前	2		1					
	計算理論	3前	2			1				
認知科学入門	3前	2		1						
テキストマイニング	3前	2					1			
英語セミナーⅠ(情報・知能)	3前	2		1						
情報科学実習Ⅱ	3後	2					2			
英語セミナーⅡ(情報・知能)	3後	2					1			
情報計画工学	3後	2			1					
知識情報処理	3後	2		1						
データベース論	3後	2					2			
情報科学特別講義	4前	2							6	
輪講(情報・知能)	4前	2		8	8		5			
電										
気										
・										
電										
子										
通										
信										
コ										
ー										
ス										
専門数学Ⅰ(電気・電子通信)	1後	2		1	1					
電磁気学Ⅰ演習	2前	2		1						
電気回路Ⅰ演習	2前	2		1						
電子物性Ⅰ	2前	2		1	2					
電子物性演習	2前	2			1					
プログラミング演習Ⅰ(電気・電子通信)	2前	4		1						
PBL演習Ⅰ(電気・電子通信)	2前	2			1		1			
プログラミング演習Ⅱ(電気・電子通信)	2後	4			1					
電磁気学Ⅱ	2後	2		1						
電磁気学Ⅱ演習	2後	2		1						
電気回路Ⅱ	2後	2			1					
電気回路Ⅱ演習	2後	2			1					
電子物性Ⅱ	2後	2			1					
エレクトロニクス実験Ⅰ	2後	2		7	7		3			
英語セミナーⅠ(電気・電子通信)	3前	2		1			1			
半導体工学	3前	2			1					
エレクトロニクス特別講義	3前	1							7	
エレクトロニクス実験Ⅱ	3前	2		7	7		3			
英語セミナーⅡ(電気・電子通信)	3後	2			1		1			
電気電子材料	3後	2		1						
電磁波工学	3後	2			1					
電子回路Ⅱ	3後	2		1			1			
電気機器学	3後	2			1					
パワーエレクトロニクス	3後	2			1					
エレクトロニクス実験Ⅲ	3後	2		7	7		3			
集積回路	4前	2		1						
電力工学	4前	2			1					
電力伝送工学	4前	2			1					

専 門 教 育 科 目	産業理解特別講義	2前							1	
	キャリア形成特別講義	2前							1	
	学外実習(インターンシップ)Ⅰ	3前・後							1	
	学外実習(インターンシップ)Ⅱ	3前・後							1	
	情報									
	・									
	知									
	能									
	コ									
	ー									
	ス									
	専門数学Ⅰ(情報・知能)	1後	2						1	
	情報数学Ⅰ	2前	2			1				
	マルチメディア入門	2前	2			1				
	情報科学演習	2前	2		8	8		8		5
	プログラミング演習Ⅰ(情報・知能)	2前	4		1					
	PBL演習Ⅰ(情報・知能)	2前	2			1				1
	データ構造とアルゴリズム	2後	2			1				
	情報理論	2後	2					1		
	論理回路	2後	2					1		
	情報数学Ⅱ	2後	2					1		
	応用確率論	2後	2			1				
	オートマトンと言語理論	2後	2					1		
	プログラミング演習Ⅱ(情報・知能)	2後	4			1				
	情報科学実習Ⅰ	3前	2							2
	プログラミング演習Ⅲ	3前	4					1		1
	プログラミング言語	3前	2					1		
	数値解析	3前	2					1		
	計算理論	3前	2						1	
認知科学入門	3前	2					1			
テキストマイニング	3前	2							1	
英語セミナーⅠ(情報・知能)	3前	2					1			
情報科学実習Ⅱ	3後	2							2	
英語セミナーⅡ(情報・知能)	3後	2							1	
情報計画工学	3後	2					1			
知識情報処理	3後	2					1			
データベース論	3後	2							1	
情報科学特別講義	4前	2							6	
輪講(情報・知能)	4前	2		8	8		8		5	
電										
気										
・										
電										
子										
通										
信										
コ										
ー										
ス										
専門数学Ⅰ(電気・電子通信)	1後	2						2		
電磁気学Ⅰ演習	2前	2						1		
電気回路Ⅰ演習	2前	2						1		
電子物性Ⅰ	2前	2						2	1	
電子物性演習	2前	2							1	
プログラミング演習Ⅰ(電気・電子通信)	2前	4						1		
PBL演習Ⅰ(電気・電子通信)	2前	2							1	
プログラミング演習Ⅱ(電気・電子通信)	2後	4							1	
電磁気学Ⅱ	2後	2						1		
電磁気学Ⅱ演習	2後	2						1		
電気回路Ⅱ	2後	2							1	
電気回路Ⅱ演習	2後	2							1	
電子物性Ⅱ	2後	2							1	
エレクトロニクス実験Ⅰ	2後	2						8	7	
英語セミナーⅠ(電気・電子通信)	3前	2						1	1	
半導体工学	3前	2							1	
エレクトロニクス特別講義	3前	1								
エレクトロニクス実験Ⅱ	3前	2						8	7	
英語セミナーⅡ(電気・電子通信)	3後	2							1	
電気電子材料	3後	2						1		
電磁波工学	3後	2							1	
電子回路Ⅱ	3後	2						1		
電気機器学	3後	2							1	
パワーエレクトロニクス	3後	2							1	
エレクトロニクス実験Ⅲ	3後	2						8	7	
集積回路	4前	2						1		
電力工学	4前	2							1	
電力伝送工学	4前	2							1	

【平成29年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
融合教育領域	微積分解法	1前		2			1					1
	化学C	1前		2								1
	情報エレクトロニクス入門	1前	2				3			1		
	数学C	1後		2								1
	物理学基礎	1後		2			1					1
	専門数学Ⅱ	1後		2			1	1				
	数学Ⅰ	2前		2								1
	数学Ⅱ	2前		2								1
	確率統計学	2前		2				1				
	物理学Ⅰ	2前		2			1					1
	物理学実験	2前	2					2				
	電磁気学Ⅰ	2前		2			1	1				
	電気回路Ⅰ	2前		2			1	1				
	キャリア形成論	2前		2			1					
	計算機基礎	2前		2						1		
	数学Ⅲ	2後		2			1					
	数学Ⅳ	2後		2				1				
	物理学Ⅱ	2後		2				1				1
	キャリアプランニング	2後		2			1					
	ソフトウェア工学	2後		2				1				
	線形システム基礎	2後		2				1				
	化学・バイオ工学概論	3前		2								1
	機械システム概論	3前		2								2
	高分子科学	3前		2								3
	電子回路I	3前		2			1	1			1	
	計算機アーキテクチャ	3前		2						1		
	計算機ハードウェア	3前		2			1					
	信号処理	3前		2				1				
	データ通信	3前		2				1				
	デジタル回路	3前		2			1					
	センシング工学	3前		2			1					
	ベンチャービジネス論	2後		2								1
	情報化社会と職業	3前		2			1	1				
	情報システム設計とOS	3後		2			1					
	マイクロプロセッサとインタフェース	3後		2			1					
	デジタル画像処理	3後		2				1				
	制御システム工学	3後		2			2					
	PBL演習Ⅱ	3後	2				14	18			7	
	科学と技術	3前		2								1
	工業技術概論	3前		2			1	2				
	職業指導Ⅰ	2前		2								1
	職業指導Ⅱ	2前		2								1
知的財産権概論	3前		2									
情報ネットワーク工学	4前		2			1						
パターン認識と機械学習	4前		2			1						
暗号と情報セキュリティ	4前		2				1					
通信システム	4前		2				1					
卒業研究	4前・後	10				14	18			7		
特別講義	3・4前後		2								1	
産業理解特別講義	2前		2								1	
キャリア形成特別講義	2前		2								1	
学外実習(インターンシップ)Ⅰ	3前・後		1								1	
学外実習(インターンシップ)Ⅱ	3前・後		1								1	
専門	専門数学Ⅰ(情報・知能)	1後		2			1					
	情報数学Ⅰ	2前		2			1					

教育 科 目	マルチメディア入門	2前	2	1					
	情報科学演習	2前	2	8	8	5			
	プログラミング演習Ⅰ(情報・知能)	2前	4	1					
	PBL演習Ⅰ(情報・知能)	2前	2	1	1				
	データ構造とアルゴリズム	2後	2	1					
	情報理論	2後	2		1				
	論理回路	2後	2		1				
	情報数学Ⅱ	2後	2		1				
	応用確率論	2後	2		1				
	オートマトンと言語理論	2後	2		1				
	プログラミング演習Ⅱ(情報・知能)	2後	4		1				
	情報科学実習Ⅰ	3前	2				2		
	プログラミング演習Ⅲ	3前	4		1		4		
	プログラミング言語	3前	2		1				
	数値解析	3前	2		1				
	計算理論	3前	2			1			
	認知科学入門	3前	2		1				
	テキストマイニング	3前	2				1		
	英語セミナーⅠ(情報・知能)	3前	2		1				
	情報科学実習Ⅱ	3後	2				2		
	英語セミナーⅡ(情報・知能)	3後	2				1		
	情報計画工学	3後	2			1			
	知識情報処理	3後	2		1				
	データベース論	3後	2				1		
	情報科学特別講義	4前	2						6
	輪講(情報・知能)	4前	2		8	8	5		
	専門数学Ⅰ(電気・電子通信)	1後	2		1	1			
	電磁気学Ⅰ演習	2前	2		1				
	電気回路Ⅰ演習	2前	2		1				
	電子物性Ⅰ	2前	2		1	2			
	電子物性演習	2前	2			1			
	プログラミング演習Ⅰ(電気・電子通信)	2前	4		1				
	PBL演習Ⅰ(電気・電子通信)	2前	2			1	1		
	プログラミング演習Ⅱ(電気・電子通信)	2後	4			1			
	電磁気学Ⅱ	2後	2		1				
	電磁気学Ⅱ演習	2後	2		1				
	電気回路Ⅱ	2後	2			1			
	電気回路Ⅱ演習	2後	2			1			
	電子物性Ⅱ	2後	2			1			
	エレクトロニクス実験Ⅰ	2後	2		7	7	3		
	英語セミナーⅠ(電気・電子通信)	3前	2		1		1		
	半導体工学	3前	2			1			
	エレクトロニクス特別講義	3前	1						7
エレクトロニクス実験Ⅱ	3前	2		7	7	3			
英語セミナーⅡ(電気・電子通信)	3後	2			1	1			
電気電子材料	3後	2		1					
電磁波工学	3後	2			1				
電子回路Ⅱ	3後	2		1		1			
電気機器学	3後	2			1				
パワーエレクトロニクス	3後	2			1				
エレクトロニクス実験Ⅲ	3後	2		7	7	3			
集積回路	4前	2		1					
電力工学	4前	2			1				
電力伝送工学	4前	2			1				
基礎製図	4前	2			1				
電気法規及び施設管理	4前	1						1	
輪講(電気・電子通信)	4前	2		7	7	3			
スタートアップセミナー	1前	2							
人間を考える	1前・後	2							
共生を考える	1前・後	2							

	山形から考える	1前・後	2							
	哲学	1前・後	2							
	心理学	1前・後	2							
	歴史学	1前・後	2							
	文学	1前・後	2							
	芸術	1前・後	2							
	言語学	1前・後	2							
	文化論	1前・後	2							
	法学	1前・後	2							
	経済学	1前・後	2							
	社会学	1前・後	2							
	政治学	1前・後	2							
	地理学	1前・後	2							
	社会と倫理	1前・後	2							
	知的財産	1前・後	2							
	日本国憲法	1前・後	2							
	教養セミナー	1前・後	2							
	数理科学	1前・後	2							
	物理学	1前・後	2							
	化学	1前・後	2							
基	生物科学	1前・後	2							
盤	地球科学	1前・後	2							
共	教養セミナー	1前・後	2							
通	応用	1前・後	2							
教	学際	1前・後	2							
育	教養セミナー	1前・後	2							
科	地域学	1前・後	2							
目	教養セミナー	1前・後	2							
	英語1	1前・後	1							
	英語2	2前・後	2							
	英語3	3前・後	2							
	ドイツ語	1前・後	2							
	フランス語	1前・後	2							
	ロシア語	1前・後	2							
	中国語	1前・後	2							
	韓国語	1前・後	2							
	日本語	1前・後	2							
	情報処理	1前・後	2							
	健康・スポーツ科学	1前・後	2							
	スポーツ実技	1前・後	1							
	スポーツセミナー	1前・後	2							
	数理科学	1前・後	2							
	物理学	1前・後	2							
	化学	1前・後	2							
	生物科学	1前・後	2							
	地球科学	1前・後	2							
	医学	1前・後	2							
	工学	1前・後	2							
	農学	1前・後	2							
	キャリア・デザイン	1前・後	2							
	キャリア教育	2前・後	2							

- (注) ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 ・ 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。
 ・ その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。
 ・ 1ページ目には認可時又は届出時と平成30年度の表を記入してください。
 ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。
 (2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成29年度】

- ・人事異動により、「PBL演習Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授15」「准教授17」「助教9」から「教授14」「准教授18」「助教7」に変更。
- ・人事異動により、「卒業研究」の専任教員等の配置を「教授15」「准教授17」「助教9」から「教授14」「准教授18」「助教7」に変更。
- ・人事異動により、「情報科学実習Ⅰ」の専任教員等の配置を「助教3」から「助教2」に変更。
- ・人事異動により、「プログラミング演習Ⅲ」の専任教員等の配置の「助教1」を削除。
- ・人事異動により、「データベース論」の専任教員等の配置を「助教2」から「助教1」に変更。

【平成30年度】

- ・人事異動により、「情報エレクトロニクス入門」の専任教員等の配置を「准教授3」「助教1」から「教授1」「准教授1」に変更。
- ・人事異動により、「物理学基礎」の専任教員等の配置の「教授1」を削除。
- ・職位の変更(昇任)により、「専門数学Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授1」「准教授1」から「教授2」に変更。
- ・人事異動により、「物理学Ⅰ」の専任教員等の配置の「教授1」を削除。
- ・人事異動により、「物理学実験」の専任教員等の配置の「准教授2」を「兼任1」に変更。
- ・人事異動により、「電気回路Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授1」「准教授1」から「教授2」に変更。
- ・人事異動により、「キャリア形成論」の専任教員等の配置を「教授1」から「兼任1」に変更。
- ・人事異動により、「教学Ⅳ」の専任教員等の配置を「准教授1」から「兼任1」に変更。
- ・人事異動により、「物理学Ⅱ」の専任教員等の配置の「准教授1」を削除。
- ・人事異動により、「キャリアプランニング」の専任教員等の配置を「教授1」から「兼任1」に変更。
- ・人事異動により、「ソフトウェア工学」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・人事異動により、「PBL演習Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授14」「准教授18」「助教7」から「教授15」「准教授17」「助教8」に変更。
- ・人事異動により、「卒業研究」の専任教員等の配置を「教授14」「准教授18」「助教7」から「教授15」「准教授17」「助教8」に変更。
- ・人事異動により、「PBL演習Ⅰ(情報・知能)」の専任教員等の配置を「准教授1」から「助教1」に変更。
- ・職位の変更(昇任)により、「専門数学Ⅰ(電気・電子通信)」の専任教員等の配置を「教授1」「准教授1」から「教授2」に変更。
- ・職位の変更(昇任)により、「電子物性Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授1」「准教授2」から「教授2」「准教授1」に変更。
- ・職位の変更(昇任)により、「エレクトロニクス実験Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授7」から「教授8」に変更。
- ・職位の変更(昇任)により、「英語セミナーⅠ(電気・電子通信)」の専任教員等の配置を「助教1」から「准教授1」に変更。
- ・職位の変更(昇任)により、「エレクトロニクス実験Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授7」から「教授8」に変更。
- ・職位の変更(昇任)により、「エレクトロニクス実験Ⅲ」の専任教員等の配置を「教授7」から「教授8」に変更。
- ・職位の変更(昇任)により、「輪講(電気・電子通信)」の専任教員等の配置を「教授7」から「教授8」に変更。

- (注) ・ 変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。
 変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
 ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
29 科目	137 科目	0 科目	166 科目	29 科目 [0]	137 科目 [0]	0 科目 [0]	166 科目 [0]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目 ※該当なし

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず, 何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については, 記入しないでください。
・ 教職大学院の場合は, 「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目 ※該当なし

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり, 何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
・ 教職大学院の場合は, 「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

※該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{166} = \boxed{}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が, 「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考			
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計				
	校舎敷地	374,451 m ²	0 m ²	0 m ²	374,451 m ²				
	運動場用地	132,076 m ²	0 m ²	0 m ²	132,076 m ²				
	小 計	506,527 m ²	0 m ²	0 m ²	506,527 m ²				
	そ の 他	7,937,080 m ²	0 m ²	0 m ²	7,937,080 m ²				
	合 計	8,443,607 m ²	0 m ²	0 m ²	8,443,607 m ²				
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計				
		205,756 m ² (205,756 m ²)	0 m ² (0 m ²)	0 m ² (0 m ²)	205,756 m ² (205,756 m ²)				
(3) 教 室 等		講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設			
		118 室	118 室	733 室	18 室 (補助職員 3 人)	3 室 (補助職員 0 人)			
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称			室 数				
		工学部 情報・エレクトロニクス学科			40 室				
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	学科・専攻単位での特定不能なため、大学全体の数	
	工学部 情報・エレクトロニクス学科	1,092,869 [318,930] (1,092,869 [318,930])	24,848 [7,051] (24,848 [7,051])	7,954 [6,665] (7,954 [6,665])	6,525 (6,525)	126 (126)	717 (717)		
	計	1,092,869 [318,930] (1,092,869 [318,930])	24,848 [7,051] (24,848 [7,051])	7,954 [6,665] (7,954 [6,665])	6,525 (6,525)	126 (126)	717 (717)		
(6) 図 書 館		面 積		閲 覧 座 席 数	収 納 可 能 冊 数			大学全体	
		12,975 m ²		1,379 席	1,059,167 冊				
(7) 体 育 館		面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体	
		7,067 m ²		陸上競技場、野球場、サッカー場、テニスコート、水泳プール(50m)、武道場、弓道場、重量拳練習場					
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	国費(運営費交付金)による
		教員1人当たり研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円	
	共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円		
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		学生納付金以外の維持方法の概要							

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成30年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(30)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 AC対象学部等を含む大学等の状況

大学の名 称	山形大学							備 考	
既設学部等の名称	修業年限	入定学員	編入学員	収定 容員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開 設 年 度	所 在 地	
	年	人	年次人	人		倍			
人文社会科学部									
人文社会科学科	4	290	3年次 20	1200	学士 (文学, 学術, 法学, 政策科学, 経済学)	1.05	平成29年度	山形県山形市小白川町一丁目4番12号	
人文学部									
人間文化学科	4	—	—	—	学士 (文学)	—	平成8年度	山形県山形市小白川町一丁目4番12号	平成29年より学生募集停止
法経政策学科	4	—	—	—	学士 (法学, 経済学, 政策科学)	—	平成18年度	同上	平成29年より学生募集停止
地域教育文化学部									
地域教育文化学科	4	175	—	700	学士 (教育学, 学術)	1.03	平成24年度	山形県山形市小白川町一丁目4番12号	
児童教育コース	4	80	—	320	学士 (教育学)	1.04	平成24年度	同上	
文化創生コース	4	95	—	380	学士 (学術)	1.00	平成29年度	同上	
異文化交流コース	4	—	—	—	学士 (学術)	—	平成24年度	同上	平成29年より学生募集停止
造形芸術コース	4	—	—	—	学士 (学術)	—	平成24年度	同上	平成29年より学生募集停止
音楽芸術コース	4	—	—	—	学士 (学術)	—	平成24年度	同上	平成29年より学生募集停止
スポーツ文化コース	4	—	—	—	学士 (学術)	—	平成24年度	同上	平成29年より学生募集停止
食環境デザインコース	4	—	—	—	学士 (学術)	—	平成24年度	同上	平成29年より学生募集停止
生活環境科学コース	4	—	—	—	学士 (学術)	—	平成24年度	同上	平成29年より学生募集停止
システム情報学コース	4	—	—	—	学士 (学術)	—	平成24年度	同上	平成29年より学生募集停止
地域教育学科	4	—	—	—	学士 (教育学)	—	平成17年度	同上	平成24年より学生募集停止
生活総合学科	4	—	—	—	学士 (学術)	—	平成17年度	同上	平成24年より学生募集停止
理学部									
理学科	4	210	—	840	学士 (理学)	1.04	平成29年度	山形県山形市小白川町一丁目4番12号	
数理科学科	4	—	—	—	学士 (理学)	—	平成7年度	同上	平成29年より学生募集停止
物理学科	4	—	—	—	学士 (理学)	—	昭和42年度	同上	平成29年より学生募集停止
物質生命化学科	4	—	—	—	学士 (理学)	—	平成7年度	同上	平成29年より学生募集停止
生物学科	4	—	—	—	学士 (理学)	—	昭和42年度	同上	平成29年より学生募集停止
地球環境学科	4	—	—	—	学士 (理学)	—	平成7年度	同上	平成29年より学生募集停止
医学部									
医学科	6	120	—	720	学士 (医学)	1.00	昭和48年度	山形県山形市飯田西二丁目2番2号	
看護学科	4	60	3年次 5	250	学士 (看護学)	1.00	平成5年度	同上	

工学部									
(昼間コース)									
高分子・有機材料工学科	4	140	—	560	学士 (工学)	1.04	平成29年度	山形県米沢市城南四丁目3番16号	
化学・バイオ工学科	4	140	—	560	学士 (工学)	1.03	平成29年度	同上	
情報・エレクトロニクス学科	4	150	—	600	学士 (工学)	1.05	平成29年度	同上	
機械システム工学科	4	140	—	560	学士 (工学)	1.05	平成2年度	同上	
建築・デザイン学科	4	30	—	120	学士 (工学)	1.04	平成29年度	同上	
機能高分子工学科	4	—	—	—	学士 (工学)	—	平成12年度	同上 平成29年より学生募集停止	
物質化学工学科	4	—	—	—	学士 (工学)	—	平成12年度	同上 平成29年より学生募集停止	
バイオ化学工学科	4	—	—	—	学士 (工学)	—	平成22年度	同上 平成29年より学生募集停止	
応用生命システム工学科	4	—	—	—	学士 (工学)	—	平成12年度	同上 平成29年より学生募集停止	
情報科学科	4	—	—	—	学士 (工学)	—	平成12年度	同上 平成29年より学生募集停止	
電気電子工学科	4	—	—	—	学士 (工学)	—	平成12年度	同上 平成29年より学生募集停止	
(フレックスコース)									
システム創成工学科	4	50	—	200	学士 (工学)	1.06	平成22年度	同上	
農学部									
食料生命環境学科	4	165	—	660	学士 (農学)	1.01	平成22年度	山形県鶴岡市若葉町1番23号	

大学の名称	山形大学大学院							備考
-------	---------	--	--	--	--	--	--	----

既設学部等の名称	修業年限	入定学員	編入学員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
社会文化システム研究科 (修士課程)									
文化システム専攻	2	6	—	12	修士 (文学)	1.99	平成9年度	山形県山形市小白川町一丁目4番12号	
社会システム専攻	2	6	—	12	修士 (政策科学)	0.66	平成9年度	同上	
地域教育文化研究科 (修士課程)									
臨床心理学専攻	2	6	—	12	修士 (臨床心理学)	0.99	平成21年度	山形県山形市小白川町一丁目4番12号	
文化創造専攻	2	8	—	16	修士 (学術)	0.93	平成21年度	同上	
医学系研究科 (博士課程)									
医学専攻 (博士前期課程)	4	26	—	104	博士 (医学)	0.82	昭和54年度	山形県山形市飯田西二丁目2番2号	
看護学専攻	2	16	—	32	修士 (看護学)	1.02	平成9年度	同上	
先進的医科学専攻	2	15	—	30	修士 (医科学)	0.36	平成29年度	同上	
生命環境医科学専攻	2	—	—	—	修士 (医科学)	—	平成16年度	同上	平成29年より学生募集停止

(博士後期課程)													
看護学専攻	3	3	—	9	博士 (看護学)	0.88	平成19年度	同上					
先進的医科学専攻	3	9	—	27	博士 (医科学)	0.49	平成29年度	同上					
生命環境医科学専攻	3	—	—	—	博士 (医科学)	—	平成16年度	同上					平成29年より学生募集停止
理工学研究科													
(博士前期課程)													
理学専攻	2	53	—	106	修士 (理学)	1.06	平成29年度	山形県山形市小白川町一丁目4番12号					
物質生命化学専攻	2	—	—	—	修士 (理学)	—	平成11年度	同上					平成29年より学生募集停止
生物学専攻	2	—	—	—	修士 (理学)	—	平成11年度	同上					平成29年より学生募集停止
物質化学工学専攻	2	38	—	76	修士 (工学)	1.12	平成16年度	山形県米沢市城南四丁目3番16号					
バイオ化学工学専攻	2	28	—	56	修士 (工学)	1.23	平成22年度	同上					
応用生命システム工学専攻	2	23	—	46	修士 (工学)	1.04	平成16年度	同上					
情報科学専攻	2	28	—	56	修士 (工学)	0.81	平成16年度	同上					
電気電子工学専攻	2	34	—	68	修士 (工学)	1.01	平成16年度	同上					
機械システム工学専攻	2	50	—	100	修士 (工学)	1.44	平成5年度	同上					
ものづくり技術経営学専攻	2	10	—	20	修士 (工学)	0.85	平成17年度	同上					
(博士後期課程)													
地球共生圏科学専攻	3	5	—	15	博士 (理学、工学、学術)	0.66	平成11年度	山形県山形市小白川町一丁目4番12号					
物質化学工学専攻	3	3	—	9	博士 (工学)	1.33	平成28年度	山形県米沢市城南四丁目3番16号					
バイオ工学専攻	3	4	—	12	博士 (工学、学術)	0.58	平成22年度	同上					
電子情報工学専攻	3	4	—	12	博士 (工学、学術)	0.50	平成22年度	同上					
機械システム工学専攻	3	3	—	9	博士 (工学、学術)	1.33	平成22年度	同上					
ものづくり技術経営学専攻	3	2	—	6	博士 (工学、学術)	0.16	平成19年度	同上					
物質生産工学専攻	3	—	—	—	博士 (工学、学術)	—	平成5年度	同上					平成22年より学生募集停止
有機材料工学専攻	3	—	—	—	博士 (工学、学術)	—	平成22年度	同上					平成28年より学生募集停止
有機材料システム研究科													
(博士前期課程)													
有機材料システム専攻	2	65	—	130	修士 (工学)	1.35	平成28年度	山形県米沢市城南四丁目3番16号					
(博士後期課程)													
有機材料システム専攻	3	10	—	30	博士 (工学)	1.00	平成28年度	同上					
農学研究科													
(修士課程)													
生物生産学専攻	2	14	—	28	修士 (農学)	1.14	平成7年度	山形県鶴岡市若葉町1番23号					
生物資源学専攻	2	16	—	32	修士 (農学)	0.84	平成14年度	同上					
生物環境学専攻	2	12	—	24	修士 (農学)	0.54	平成7年度	同上					

教育実践研究科 (専門職学位課程) 教職実践専攻	2	20	—	40	教職修 士 (専任職)	1.00	平成21年度	山形県山形市小白川町 一丁目4番12号
--------------------------------	---	----	---	----	-------------------	------	--------	------------------------

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部、学科)、大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について、それぞれの学校種ごとに、平成30年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織ごと」には、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 ※なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
 - ・専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。
 - ・AC対象学部等については、必ず記入するとともに、下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
 - ・学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「—」とし、「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<工学部 情報・エレクトロニクス学科>

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】		【平成29年度】		【平成30年度】		【平成31年度】		【平成32年度】				
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名	
専	教授	神谷 淳 (57) <平成29年4月> 数学Ⅲ PBL演習Ⅱ 卒業研究 情報科学Ⅰ 情報科学演習 数値解析 英語ゼミⅠ(情報・知能) 輪講(情報・知能)	専	教授	神谷 淳 (58) <平成29年4月> 数学Ⅲ PBL演習Ⅱ 卒業研究 情報科学Ⅰ 情報科学演習 数値解析 英語ゼミⅠ(情報・知能) 輪講(情報・知能)	専	教授	神谷 淳 (59) <平成29年4月> 数学Ⅲ PBL演習Ⅱ 卒業研究 情報科学Ⅰ 情報科学演習 数値解析 英語ゼミⅠ(情報・知能) 輪講(情報・知能)				
専	教授	稲葉 信幸 (56) <平成29年4月> 電磁気学Ⅰ 計算機ハードウェア 電子回路 PBL演習Ⅱ 卒業研究 電磁気学Ⅰ演習 エレクトロニクス実験Ⅰ エレクトロニクス実験Ⅱ エレクトロニクス実験Ⅲ 輪講(電気・電子通信)	専	教授	稲葉 信幸 (57) <平成29年4月> 電磁気学Ⅰ 計算機ハードウェア 電子回路 PBL演習Ⅱ 卒業研究 電磁気学Ⅰ演習 エレクトロニクス実験Ⅰ エレクトロニクス実験Ⅱ エレクトロニクス実験Ⅲ 輪講(電気・電子通信)	専	教授	稲葉 信幸 (58) <平成29年4月> 電磁気学Ⅰ 計算機ハードウェア 電子回路 PBL演習Ⅱ 卒業研究 電磁気学Ⅰ演習 エレクトロニクス実験Ⅰ エレクトロニクス実験Ⅱ エレクトロニクス実験Ⅲ 輪講(電気・電子通信)				
専	教授	足立 和成 (55) <平成29年4月> 電気回路Ⅰ 電子回路Ⅰ PBL演習Ⅱ 卒業研究 電気回路Ⅰ演習 エレクトロニクス実験Ⅰ 英語ゼミⅠ(電気・電子通信) エレクトロニクス実験Ⅱ エレクトロニクス実験Ⅲ 輪講(電気・電子通信)	専	教授	足立 和成 (56) <平成29年4月> 電気回路Ⅰ 電子回路Ⅰ PBL演習Ⅱ 卒業研究 電気回路Ⅰ演習 エレクトロニクス実験Ⅰ 英語ゼミⅠ(電気・電子通信) エレクトロニクス実験Ⅱ エレクトロニクス実験Ⅲ 輪講(電気・電子通信)	専	教授	足立 和成 (57) <平成29年4月> 電気回路Ⅰ 電子回路Ⅰ PBL演習Ⅱ 卒業研究 電気回路Ⅰ演習 エレクトロニクス実験Ⅰ 英語ゼミⅠ(電気・電子通信) エレクトロニクス実験Ⅱ エレクトロニクス実験Ⅲ 輪講(電気・電子通信)				
専	教授	小坂 哲夫 (56) <平成29年4月> PBL演習Ⅱ パターン認識と機械学習 卒業研究 情報科学演習 プログラミング演習Ⅰ (情報・知能) 応用確率論 輪講(情報・知能) 物理学基礎 物理学Ⅰ キャリア形成論 キャリアプランニング	専	教授	小坂 哲夫 (57) <平成29年4月> PBL演習Ⅱ パターン認識と機械学習 卒業研究 情報科学演習 プログラミング演習Ⅰ (情報・知能) 応用確率論 輪講(情報・知能) 物理学基礎 物理学Ⅰ キャリア形成論 キャリアプランニング	専	教授	小坂 哲夫 (58) <平成29年4月> PBL演習Ⅱ パターン認識と機械学習 卒業研究 情報科学演習 プログラミング演習Ⅰ (情報・知能) 応用確率論 輪講(情報・知能)				
専	教授	近藤 和弘 (57) <平成29年4月> PBL演習Ⅱ 通信システム 卒業研究 プログラミング演習Ⅰ(電気・電子通信) エレクトロニクス実験Ⅰ	専	教授	近藤 和弘 (58) <平成29年4月> PBL演習Ⅱ 通信システム 卒業研究 プログラミング演習Ⅰ(電気・電子通信) エレクトロニクス実験Ⅰ	専	教授	近藤 和弘 (59) <平成29年4月> PBL演習Ⅱ 通信システム 卒業研究 プログラミング演習Ⅰ(電気・電子通信) エレクトロニクス実験Ⅰ				
専	教授	小山 明夫 (59) <平成29年4月> PBL演習Ⅱ 情報ネットワーク工学 卒業研究 情報科学演習 データ構造とアルゴリズム プログラミング演習Ⅲ プログラミング言語 輪講(情報・知能)	専	教授	小山 明夫 (60) <平成29年4月> PBL演習Ⅱ 情報ネットワーク工学 卒業研究 情報科学演習 データ構造とアルゴリズム プログラミング演習Ⅲ プログラミング言語 輪講(情報・知能)	専	教授	小山 明夫 (61) <平成29年4月> PBL演習Ⅱ 情報ネットワーク工学 卒業研究 情報科学演習 データ構造とアルゴリズム プログラミング演習Ⅲ プログラミング言語 輪講(情報・知能)				
専	教授	山内 泰樹 (51) <平成29年4月> 情報化社会と職業 PBL演習Ⅱ 卒業研究 情報科学演習 プログラミング演習Ⅱ (情報・知能) 認知科学入門 輪講(情報・知能)	専	教授	山内 泰樹 (52) <平成29年4月> 情報化社会と職業 PBL演習Ⅱ 卒業研究 情報科学演習 プログラミング演習Ⅱ (情報・知能) 認知科学入門 輪講(情報・知能)	専	教授	山内 泰樹 (53) <平成29年4月> ソフトウェア工学 情報化社会と職業 PBL演習Ⅱ 卒業研究 情報科学演習 プログラミング演習Ⅱ (情報・知能) 認知科学入門 輪講(情報・知能)				
専	教授	佐藤 学 (55) <平成29年4月> 微積分解法 専門数学Ⅱ センシング工学 制御システム工学 PBL演習Ⅱ 卒業研究 専門数学Ⅰ(電気・電子通信) エレクトロニクス実験Ⅰ	専	教授	佐藤 学 (56) <平成29年4月> 微積分解法 専門数学Ⅱ センシング工学 制御システム工学 PBL演習Ⅱ 卒業研究 専門数学Ⅰ(電気・電子通信) エレクトロニクス実験Ⅰ	専	教授	佐藤 学 (57) <平成29年4月> 微積分解法 専門数学Ⅱ センシング工学 制御システム工学 PBL演習Ⅱ 卒業研究 専門数学Ⅰ(電気・電子通信) エレクトロニクス実験Ⅰ				

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名				
		エレクトロニクス実験Ⅱ エレクトロニクス実験Ⅲ 輪講(電気・電子通信)				
専	教授	野本 弘平 (59) <平成29年4月>	野本 弘平 (60) <平成29年4月>	野本 弘平 (61) <平成29年4月>	野本 弘平 (61) <平成29年4月>	
		制御システム工学 PBL演習Ⅱ 工業技術概論 卒業研究 情報科学演習 知識情報処理 輪講(情報・知能)	制御システム工学 PBL演習Ⅱ 工業技術概論 卒業研究 情報科学演習 知識情報処理 輪講(情報・知能)	情報システム工学 制御システム工学 PBL演習Ⅱ 工業技術概論 卒業研究 情報科学演習 知識情報処理 輪講(情報・知能)	情報システム工学 制御システム工学 PBL演習Ⅱ 工業技術概論 卒業研究 情報科学演習 知識情報処理 輪講(情報・知能)	
専	教授	平中 幸雄 (63) <平成29年4月>	平中 幸雄 (64) <平成29年4月>	平中 幸雄 (65) <平成29年4月>	平中 幸雄 (65) <平成29年4月>	
		情報システム設計とOS PBL演習Ⅱ 卒業研究 マイコン/7入門 情報科学演習 輪講(情報・知能)	情報システム設計とOS PBL演習Ⅱ 卒業研究 マイコン/7入門 情報科学演習 輪講(情報・知能)	電気回路Ⅰ 情報システム設計とOS PBL演習Ⅱ 卒業研究 マイコン/7入門 情報科学演習 輪講(情報・知能)	電気回路Ⅰ 情報システム設計とOS PBL演習Ⅱ 卒業研究 マイコン/7入門 情報科学演習 輪講(情報・知能)	
専	教授	田村 安孝 (62) <平成29年4月>	田村 安孝 (63) <平成29年4月>	田村 安孝 (64) <平成29年4月>	田村 安孝 (64) <平成29年4月>	
		マイコン/ロボットとインタフェース PBL演習Ⅱ 卒業研究 情報科学演習 PBL演習Ⅰ(情報・知能) 輪講(情報・知能)	マイコン/ロボットとインタフェース PBL演習Ⅱ 卒業研究 情報科学演習 PBL演習Ⅰ(情報・知能) 輪講(情報・知能)	マイコン/ロボットとインタフェース PBL演習Ⅱ 卒業研究 情報科学演習 PBL演習Ⅰ(情報・知能) 輪講(情報・知能)	マイコン/ロボットとインタフェース PBL演習Ⅱ 卒業研究 情報科学演習 PBL演習Ⅰ(情報・知能) 輪講(情報・知能)	
専	教授	中島 健介 (60) <平成29年4月>	中島 健介 (61) <平成29年4月>	中島 健介 (62) <平成29年4月>	中島 健介 (62) <平成29年4月>	
		PBL演習Ⅱ 卒業研究 電磁気学Ⅱ 電磁気学Ⅱ演習 エレクトロニクス実験Ⅰ エレクトロニクス実験Ⅱ 電気電子材料 エレクトロニクス実験Ⅲ 輪講(電気・電子通信)	PBL演習Ⅱ 卒業研究 電磁気学Ⅱ 電磁気学Ⅱ演習 エレクトロニクス実験Ⅰ エレクトロニクス実験Ⅱ 電気電子材料 エレクトロニクス実験Ⅲ 輪講(電気・電子通信)	PBL演習Ⅱ 卒業研究 電磁気学Ⅱ 電磁気学Ⅱ演習 エレクトロニクス実験Ⅰ エレクトロニクス実験Ⅱ 電気電子材料 エレクトロニクス実験Ⅲ 輪講(電気・電子通信)	PBL演習Ⅱ 卒業研究 電磁気学Ⅱ 電磁気学Ⅱ演習 エレクトロニクス実験Ⅰ エレクトロニクス実験Ⅱ 電気電子材料 エレクトロニクス実験Ⅲ 輪講(電気・電子通信)	
専	教授	新聞 久一 (62) <平成29年4月>	新聞 久一 (63) <平成29年4月>	新聞 久一 (64) <平成29年4月>	新聞 久一 (64) <平成29年4月>	
		PBL演習Ⅱ 卒業研究 情報科学演習 輪講(情報・知能)	PBL演習Ⅱ 卒業研究 情報科学演習 輪講(情報・知能)	PBL演習Ⅱ 卒業研究 情報科学演習 輪講(情報・知能)	PBL演習Ⅱ 卒業研究 情報科学演習 輪講(情報・知能)	
専	教授	松下 浩一 (63) <平成29年4月>	松下 浩一 (64) <平成29年4月>	松下 浩一 (65) <平成29年4月>	松下 浩一 (65) <平成29年4月>	
		PBL演習Ⅱ 卒業研究 エレクトロニクス実験Ⅰ エレクトロニクス実験Ⅱ エレクトロニクス実験Ⅲ 輪講(電気・電子通信)	PBL演習Ⅱ 卒業研究 エレクトロニクス実験Ⅰ エレクトロニクス実験Ⅱ エレクトロニクス実験Ⅲ 輪講(電気・電子通信)	PBL演習Ⅱ 卒業研究 エレクトロニクス実験Ⅰ エレクトロニクス実験Ⅱ エレクトロニクス実験Ⅲ 輪講(電気・電子通信)	PBL演習Ⅱ 卒業研究 エレクトロニクス実験Ⅰ エレクトロニクス実験Ⅱ エレクトロニクス実験Ⅲ 輪講(電気・電子通信)	
専	准教授	齊藤 敦 (45) <平成29年4月>	齊藤 敦 (46) <平成29年4月>	齊藤 敦 (47) <平成29年4月>	齊藤 敦 (47) <平成29年4月>	
		専門数学Ⅱ PBL演習Ⅱ 卒業研究 専門数学Ⅰ(電気・電子通信) 電子物性Ⅰ 電子物性演習 エレクトロニクス実験Ⅰ エレクトロニクス実験Ⅱ エレクトロニクス実験Ⅲ 輪講(電気・電子通信)	専門数学Ⅱ PBL演習Ⅱ 卒業研究 専門数学Ⅰ(電気・電子通信) 電子物性Ⅰ 電子物性演習 エレクトロニクス実験Ⅰ エレクトロニクス実験Ⅱ エレクトロニクス実験Ⅲ 輪講(電気・電子通信)	専門数学Ⅱ PBL演習Ⅱ 卒業研究 専門数学Ⅰ(電気・電子通信) 電子物性Ⅰ 電子物性演習 エレクトロニクス実験Ⅰ エレクトロニクス実験Ⅱ エレクトロニクス実験Ⅲ 輪講(電気・電子通信)	専門数学Ⅱ PBL演習Ⅱ 卒業研究 専門数学Ⅰ(電気・電子通信) 電子物性Ⅰ 電子物性演習 エレクトロニクス実験Ⅰ エレクトロニクス実験Ⅱ エレクトロニクス実験Ⅲ 輪講(電気・電子通信)	
専	教授	廣瀬 文彦 (52) <平成29年4月>	廣瀬 文彦 (53) <平成29年4月>	廣瀬 文彦 (54) <平成29年4月>	廣瀬 文彦 (54) <平成29年4月>	
		電子物性Ⅰ エレクトロニクス実験Ⅰ エレクトロニクス実験Ⅱ エレクトロニクス実験Ⅲ 集積回路 輪講(電気・電子通信)	電子物性Ⅰ エレクトロニクス実験Ⅰ エレクトロニクス実験Ⅱ エレクトロニクス実験Ⅲ 集積回路 輪講(電気・電子通信)	電子物性Ⅰ エレクトロニクス実験Ⅰ エレクトロニクス実験Ⅱ エレクトロニクス実験Ⅲ 集積回路 輪講(電気・電子通信)	電子物性Ⅰ エレクトロニクス実験Ⅰ エレクトロニクス実験Ⅱ エレクトロニクス実験Ⅲ 集積回路 輪講(電気・電子通信)	
専	准教授	柳田 裕隆 (45) <平成29年4月>	柳田 裕隆 (46) <平成29年4月>	柳田 裕隆 (47) <平成29年4月>	柳田 裕隆 (47) <平成29年4月>	
		電磁気学Ⅰ 電子回路Ⅰ PBL演習Ⅱ 卒業研究 論理回路 情報科学演習 輪講(情報・知能)	電磁気学Ⅰ 電子回路Ⅰ PBL演習Ⅱ 卒業研究 論理回路 情報科学演習 輪講(情報・知能)	電磁気学Ⅰ 電子回路Ⅰ PBL演習Ⅱ 卒業研究 論理回路 情報科学演習 輪講(情報・知能)	電磁気学Ⅰ 電子回路Ⅰ PBL演習Ⅱ 卒業研究 論理回路 情報科学演習 輪講(情報・知能)	
専	准教授	永井 岳大 (37) <平成29年4月>	永井 岳大 (38) <平成29年4月>			
		PBL演習Ⅱ 卒業研究 情報システム工学入門	PBL演習Ⅱ 卒業研究 情報システム工学入門			

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名		担当授業科目名		担当授業科目名		担当授業科目名		担当授業科目名
兼任	教授	羽場 修 (35) <平成29年4月>	兼任	教授	羽場 修 (35) <平成29年4月>	兼任	教授	羽場 修 (35) <平成29年4月>		
		化学C エレクトロニクス特別講義			化学C エレクトロニクス特別講義			化学C エレクトロニクス特別講義		
兼任	教授	加藤 宏朗 (35) <平成29年4月>	兼任	教授	加藤 宏朗 (35) <平成29年4月>	兼任	教授	加藤 宏朗 (35) <平成29年4月>		
		物理学基礎 物理学I 情報科学特別講義 エレクトロニクス特別講義 学外実習(インターンシップ)I 学外実習(インターンシップ)II			物理学基礎 物理学I 情報科学特別講義 エレクトロニクス特別講義 学外実習(インターンシップ)I 学外実習(インターンシップ)II			物理学基礎 物理学I 情報科学特別講義 エレクトロニクス特別講義 学外実習(インターンシップ)I 学外実習(インターンシップ)II		
兼任	教授	小野 浩幸 (35) <平成29年4月>	兼任	教授	小野 浩幸 (35) <平成29年4月>	兼任	教授	小野 浩幸 (35) <平成29年4月>		
		ベンチャービジネス論 特別講義 産業界特別講義 キャリア形成特別講義			ベンチャービジネス論 特別講義 産業界特別講義 キャリア形成特別講義			ベンチャービジネス論 特別講義 産業界特別講義 キャリア形成特別講義		
兼任	准教授	東原 知哉 (35) <平成29年4月>	兼任	准教授	東原 知哉 (35) <平成29年4月>	兼任	准教授	東原 知哉 (35) <平成29年4月>		
		高分子科学			高分子科学			高分子科学		
兼任	准教授	香田 智剛 (35) <平成29年4月>	兼任	准教授	香田 智剛 (35) <平成29年4月>	兼任	准教授	香田 智剛 (35) <平成29年4月>		
		高分子科学			高分子科学			高分子科学		
兼任	准教授	中西 為雄 (35) <平成29年4月>	兼任	准教授	中西 為雄 (35) <平成29年4月>	兼任	准教授	中西 為雄 (35) <平成29年4月>		
		機械システム概論			機械システム概論			機械システム概論		
兼任	准教授	早田 孝博 (35) <平成29年4月>	兼任	准教授	早田 孝博 (35) <平成29年4月>	兼任	准教授	早田 孝博 (35) <平成29年4月>		
		数学I 数学II 情報科学特別講義 エレクトロニクス特別講義			数学I 数学II 情報科学特別講義 エレクトロニクス特別講義			数学I 数学II 情報科学特別講義 エレクトロニクス特別講義		
兼任	准教授	小池 邦博 (35) <平成29年4月>	兼任	准教授	小池 邦博 (35) <平成29年4月>	兼任	准教授	小池 邦博 (35) <平成29年4月>		
		物理学II 情報科学特別講義 エレクトロニクス特別講義			物理学II 情報科学特別講義 エレクトロニクス特別講義			物理学II 情報科学特別講義 エレクトロニクス特別講義		
兼任	准教授	安達 義也 (35) <平成29年4月>	兼任	准教授	安達 義也 (35) <平成29年4月>	兼任	准教授	安達 義也 (35) <平成29年4月>		
		情報科学特別講義 エレクトロニクス特別講義			情報科学特別講義 エレクトロニクス特別講義			情報科学特別講義 エレクトロニクス特別講義		
兼任	准教授	大槻 恭士 (35) <平成29年4月>	兼任	准教授	大槻 恭士 (35) <平成29年4月>	兼任	准教授	大槻 恭士 (35) <平成29年4月>		
		情報科学特別講義 エレクトロニクス特別講義			情報科学特別講義 エレクトロニクス特別講義			情報科学特別講義 エレクトロニクス特別講義		

- (注) ・ 申請書又は届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
・ 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。
その上で、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。**
・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
・ 専任、兼任、兼任の順に記入してください。
・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【平成29年度】

- ・井上助教辞任。

【平成30年度】

- ・永井准教授辞任により、平成30年10月1付着任に向け現在公募中。
- ・大音助教就任（平成29年9月資格審査済み）。

- (注)
- ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
 - ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
 - ・ 不要な年度（平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時 における設置基準上 の必要教授数
11	6
名	名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	教授	准教授	講師	助教	計 (B)	教授	准教授	講師	助教	計 (C)
15	18	0	8	41	15	17	0	8	40	15	18	0	8	41
(15)	(17)	(0)	(8)	(40)						[0]	[0]	[0]	[0]	[0]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、「現在（報告書提出時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告書提出時（上 記（B））の教員 のうち、定年を延 長して採用してい る教員数	完成年度時（上記 （C））の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65	0	0
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）および、平成30年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告書提出時）の完成年度時の計画(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{41}{41} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告書提出時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告書提出時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告書提出時）の状況(B)}} = \frac{0}{40} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) -① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由	
		※該当なし					
合計 (D)			後任補充状況の集計 (E)				
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
0	人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) -②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
1	助教	井上 雅史	必修	情報科学実習Ⅰ	①	H29.3.31付け他大学へ転出のため辞任 (29)	
			必修	プログラミング演習Ⅲ	①		
			選択	データベース論	①		
2	准教授	永井 岳大	必修	PBL演習Ⅱ	①	H30.3.31付け他大学へ転出のため辞任 (30)	
			必修	卒業研究	①		
			必修	情報エレクトロニクス入門	①		
合計 (F)			後任補充状況の集計 (G)				
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
2	人	必修	5 科目	必修	5 科目	必修	0 科目
		選択	1 科目	選択	1 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	6 科目	計	6 科目	計	0 科目

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について**に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -③ 上記 (3) -① ・ (3) -② の合計

合計 (D) + (F)			後任補充状況の集計 (E) + (G)				
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
2	人	必修	5 科目	必修	5 科目	必修	0 科目
		選択	1 科目	選択	1 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	6 科目	計	6 科目	計	0 科目

(3) -④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計 (D) + (F)}}{(2) - ② \text{設置時の計画 (A)}} = \frac{2}{41} = 4.87 \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) -⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
		※該当なし				
合計				後任補充状況の集計		
辞任した教員数	担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
0 人	必修	0	科目	必修	0	科目
	選択	0	科目	選択	0	科目
	自由	0	科目	自由	0	科目
	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・ 兼任兼任教員が担当する(している)場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

上記教員が担当する科目は、複数教員で担当する授業及び輪番で担当する授業であるため、同人が担当する科目は、他教員が担当することになり支障はない。また、学生への周知については、オリエンテーション、学生便覧及びWeb等で周知徹底を行った。

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (平成28年8月)	※該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (平成30年2月)	※該当なし		

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、当該大学に付された意見を全て記入するとともに、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
- ・ 「履行状況」では、履行途中であれば「未履行」、履行済みであれば「履行済」を選択してください。
- ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

7 その他全般的事項

<工学部 情報・エレクトロニクス学科>

(1) 設置計画変更事項等 ※該当なし

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
記入例) ① 修了要件単位数 1 2 4 単位 必修科目〇〇単位, 選択科目〇〇単位 ② 施設・設備 a 講義室〇室 (〇㎡) b 自習室〇室 (〇㎡) c 図書〇〇冊	① 学生の専門性をより高めるため、必修科目(1科目・2単位)を追加。(別添〇「新旧対象表」参照) ② 学生の修学環境を改善するため、講義室、自習室をそれぞれ〇部屋(〇㎡)増やすとともに、図書も〇〇冊増書した。

(注)・1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策(FD・SD活動含む) ※該当なし

① 実施体制 a 委員会の設置状況 b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む) c 委員会の審議事項等 ② 実施状況 a 実施内容 記入例) ・ 授業方法について研究会 ・ 教員相互の授業参観 ・ 新任教員のための研修会 等 b 実施方法 c 開催状況(教員の参加状況含む) d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況 ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況 a 実施の有無及び実施時期 b 教員や学生への公開状況、方法等

(注)・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 自己点検・評価等に関する事項 ※該当なし

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

.....

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

記入例）
・平成30年5月1日 公表

b 公表方法

記入例）
・自己点検・評価報告書を刊行し、近隣企業（〇〇社）及び希望があった学生（〇〇名）に各1冊を配布
・大学ホームページ上に公開予定（平成30年8月末を予定）

③ 認証評価を受ける計画

・平成31年度に評価機関（独立行政法人大学改革支援・学位授与機構）の評価を受けるべく、学内で検討中

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表（予定）の有無 (有 ・ 無)

b 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期 (平成30年10月1日)

(注) ・ 「a ホームページに公表（予定）有無」には、5月1日時点で公表している場合、もしくは、今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。
・ 「b 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期」には、「a ホームページに公表（予定）有無」で「有」にマルを記入した場合のみ、時期を記入してください。

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人 山形大学

(2) 大学名

山形大学

(3) 大学の位置

〒992-8510
山形県米沢市城南四丁目3番16号

(〒990-8560
山形県山形市小白川町一丁目4番12号)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	※該当なし		
学長	(コヤマ キヨヒト) 小山清人 (平成26年4月)		
学部長	(イイツカ ヒロシ) 飯塚博 (平成23年9月)		
学科長	(ナガイ ヤスオ) 永井康雄 (平成29年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
(例) 平成29年度に報告済の内容 → (29)
平成30年度に報告する内容 → (30)
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
 ・ 様式は, 平成27年度開設の4年制の学科の場合(平成30年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
工学部 建築・デザイン学科	工学関係	4年	30人	- 年次人	120人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度		平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	30 (-) [若干人]	-	30 (-) [若干人]	-	() []	() []	() []	() []	1.05 倍	
志願者数	174 (-) [2]	- (-) [-]	110 (-) [3]	- (-) [-]	() []	() []	() []	() []		
受験者数	170 (-) [2]	- (-) [-]	102 (-) [3]	- (-) [-]	() []	() []	() []	() []		
合格者数	37 (-) [-]	- (-) [-]	36 (-) [-]	- (-) [-]	() []	() []	() []	() []		
B 入学者数	32 (-) [-]	- (-) [-]	31 (-) [-]	- (-) [-]	() []	() []	() []	() []		
入学定員超過率 B/A	1.06		1.03							

- (注) ・ 数字は, 平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 転入学生は記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入**してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学年	平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度		備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	32 [-] (-)	- [-] (-)	31 [-] (-)	- [-] (-)	[] [] ()	[] [] ()	[] [] ()	[] [] ()	
2年次	/		32 [-] (-)	- [-] (-)	[] [] ()	[] [] ()	[] [] ()	[] [] ()	
3年次	/		/		[] [] ()	[] [] ()	[] [] ()	[] [] ()	
4年次	/		/		/		[] [] ()	[] [] ()	
計	32 [-] (-)		63 [-] (-)		[] [] ()	[] [] ()	[] [] ()	[] [] ()	

- (注) ・ 数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由
			入学した年度	退学者数	退学者数のうち留学生数	
平成29年度	32人	0人	平成29年度	0人	0人	
平成30年度	63人	0人	平成29年度	0人	0人	
			平成30年度	0人	0人	
平成31年度	人	人	平成29年度	人	人	
			平成30年度	人	人	
			平成31年度	人	人	
平成32年度	人	人	平成29年度	人	人	
			平成30年度	人	人	
			平成31年度	人	人	
			平成32年度	人	人	
合計	95人	0人				

(注)・数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。

- 各年度の在学者数については、該当年度に在学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- 在学者数や退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{32} = \boxed{0} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{63} = \boxed{0} \%$$

【平成31年度】

$$\frac{\text{平成31年度の退学者数(a)}}{\text{平成31年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【平成32年度】

$$\frac{\text{平成32年度の退学者数(a)}}{\text{平成32年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<工学部 建築・デザイン学科>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門基礎科目	微積分解法	2前		2								1	
	機械工学基礎Ⅰ	2前		2								1	
	機械工学基礎Ⅱ	2後		2								1	
	数学C	2後		2								1	
	建築学概論	1前	2			1							
	デザイン概論	1前	2			1	1						
	日本建築史	1後	2			1							
	木質構造概論	1後		2		2	1						
	図学	2前		2		1							
	基礎設計製図	2前	2			2	3						
	新材料加工学	2前		2		1							
	西洋建築史	2前		2		1							
	建築一般構造	2後		2		1							
	建築法規	2後		2								1	
	測量学	2後		2								1	
	測量学実習	2後		2								1	
	特別講義	2後		2		5							
	専門教育科目	確率統計学	4前		2								1
		安全工学	4前		2								1
		数値解析	4前		2								1
知的財産権概論		4前		2								1	
運動と力学及び演習		2後		2								1	
環境工学		2前	2			1	1						
住居計画学		2前	2			1							
建築構造力学		2前	2			1							
建築設計製図Ⅰ		2後	2			2	3						
建築CAD演習		2後		2		1							
建築設備		2後		2		1	1						
建築材料学		2後		2		1	1						
インテリアデザイン論		2後		2							1		
ユニバーサルデザイン論		2後		2		1	1						
建築設計製図Ⅱ		3前	2			3	3						
住環境論		3前		2		1							
施設計画		3前		2		1	1						
耐震構造		3前		2		1							
建築材料学実験		3前		2		1	1						
木質構造デザイン		3前		2		2	1						
建築環境エネルギーデザイン	3前		2		1								
建築環境リサイクル	3前		2		1								
建築史演習	3前		2		1	1							
住まいと庭園	3後		2		1	1							
建築設計製図Ⅲ	3後		2		3	3							
都市・地域計画	3後	2			1								
地盤工学	3後		2		1								
建築施工	3後		2		1	1							
景観設計	3後		2		1	1							
木質構造デザイン演習	3後		2		2	1							
建築構造デザイン	3後		2		1								
地震工学	3後		2		1	1							

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門基礎科目	微積分解法	2前		2								1	
	機械工学基礎Ⅰ	2前		2								1	
	機械工学基礎Ⅱ	2後		2								1	
	数学C	2後		2								1	
	建築学概論	1前	2					1					
	デザイン概論	1前	2					4			1	1	
	日本建築史	1後	2					1					
	木質構造概論	1後		2				1			1		
	図学	2前		2				1					
	基礎設計製図	2前	2					2			1		
	新材料加工学	2前		2				1					
	西洋建築史	2前		2				1					
	建築一般構造	2後		2				1			1		
	建築法規	2後		2								1	
	測量学	2後		2								1	
	測量学実習	2後		2								1	
	特別講義	2後		2				4			3		
	専門教育科目	確率統計学	4前		2								1
		安全工学	4前		2								1
		数値解析	4前		2								1
知的財産権概論		4前		2								1	
運動と力学及び演習		2後		2								1	
環境工学		2前	2									1	
住居計画学		2前	2					1					
建築構造力学		2前	2					1					
建築設計製図Ⅰ		2後	2					2			1		
建築CAD演習		2後		2								1	
建築設備		2後		2								1	
建築材料学		2後		2				1			1		
インテリアデザイン論		2後		2								1	
ユニバーサルデザイン論		2後		2				1					
建築設計製図Ⅱ		3前	2					3			1		
住環境論		3前		2				1					
施設計画		3前		2				1					
耐震構造		3前		2				1					
建築材料学実験		3前		2				1			1		
木質構造デザイン		3前		2				1			1		
建築環境エネルギーデザイン	3前		2				1						
建築環境リサイクル	3前		2				1						
建築史演習	3前		2				1			1			
住まいと庭園	3後		2				1						
建築設計製図Ⅲ	3後		2				3			1			
都市・地域計画	3後	2					1						
地盤工学	3後		2				1						
建築施工	3後		2				1						
景観設計	3後		2				1						
木質構造デザイン演習	3後		2				1			1			
建築構造デザイン	3後		2				1						
地震工学	3後		2				1						

健康・スポーツ科学	1前・後	2							
スポーツ実技	1前・後	1							
スポーツセミナー	1前・後	2							
数理科学	1前・後	2							
物理学	1前・後	2							
化学	1前・後	2							
生物科学	1前・後	2							
地球科学	1前・後	2							
医学	1前・後	2							
工学	1前・後	2							
農学	1前・後	2							
キャリア・デザイン	1前・後	2							
キャリア教育	2前・後	2							

健康・スポーツ科学	1前・後	2							
スポーツ実技	1前・後	1							
スポーツセミナー	1前・後	2							
数理科学	1前・後	2							
物理学	1前・後	2							
化学	1前・後	2							
生物科学	1前・後	2							
地球科学	1前・後	2							
医学	1前・後	2							
工学	1前・後	2							
農学	1前・後	2							
キャリア・デザイン	1前・後	2							
キャリア教育	2前・後	2							

【平成29年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門教育科目	微積分解法	2前		2								1	
	機械工学基礎Ⅰ	2前		2								1	
	機械工学基礎Ⅱ	2後		2								1	
	数学C	2後		2								1	
	建築学概論	1前	2			1							
	デザイン概論	1前	2			1			1				
	日本建築史	1後	2			1							
	木質構造概論	1後		2		2			1				
	図学	2前		2		1							
	基礎設計製図	2前	2			2			1				
	新材料加工学	2前		2		1							
	西洋建築史	2前		2		1							
	建築一般構造	2後		2		1							
	建築法規	2後		2								1	
	測量学	2後		2								1	
	測量学実習	2後		2								1	
	特別講義	2後		2		5							
	確率統計学	4前		2									1
	安全工学	4前		2									1
	数値解析	4前		2									1
	知的財産権概論	4前		2									1
	運動と力学及び演習	2後		2									1
	環境工学	2前	2			1							
	住居計画学	2前	2			1							
	建築構造力学	2前	2			1							
	建築設計製図Ⅰ	2後	2			2			1				
	建築CAD演習	2後		2		1							
	建築設備	2後		2		1							
	建築材料学	2後		2		1			1				
	インテリアデザイン論	2後		2								1	
	ユニバーサルデザイン論	2後		2		1							
	建築設計製図Ⅱ	3前	2			3			1				
	住環境論	3前		2		1							
	施設計画	3前		2		1							
	耐震構造	3前		2		1							
	建築材料学実験	3前		2		1							
	木質構造デザイン	3前		2		2			1				
建築環境エネルギーデザイン	3前		2		1								
建築環境リサイクル	3前		2		1								
建築史演習	3前		2		1				1				
住まいと庭園	3後		2		1								
建築設計製図Ⅲ	3後	2			3			1					
都市・地域計画	3後	2			1								
地盤工学	3後		2		1								
建築施工	3後		2		1								
景観設計	3後		2		1								
木質構造デザイン演習	3後		2		2			1					
建築構造デザイン	3後		2		1								
地震工学	3後		2		1								
建築環境エネルギーデザイン実験	3後		2		1								
建築環境実験	3後		2		1								
建築設計製図Ⅳ	4前		2		3			1					
振動論	4前		2		1								
建築職能論	4前		2								1		
工業英語	4前		2		1								

	デザイン基礎	2前	2		1				
	地域デザイン論	2前	2		3		1		
	地域デザイン演習	2後	2		3		1		
	デザイン演習	3前	2		1				
	インダストリアルデザイン	3後	2						1
	オープンデスク	3前	2		5		2		
	単位互換科目	3前・後	2		5				
	ゼミナール	4前・後	2		5				
	卒業研究	4通	10		5				
	学外実習(インターシップ)	3前・後	2		5				
	建築・デザイン特別講義	4前・後	3		5				
	職業指導 I	3前	2						1
	職業指導 II	3前	2						1
基 盤 共 通 教 育 科 目	スタートアップセミナー	1前	2						
	人間を考える	1前・後	2						
	共生を考える	1前・後	2						
	山形から考える	1前・後	2						
	哲学	1前・後	2						
	心理学	1前・後	2						
	歴史学	1前・後	2						
	文学	1前・後	2						
	芸術	1前・後	2						
	言語学	1前・後	2						
	文化論	1前・後	2						
	法学	1前・後	2						
	経済学	1前・後	2						
	社会学	1前・後	2						
	政治学	1前・後	2						
	地理学	1前・後	2						
	社会と倫理	1前・後	2						
	知的財産	1前・後	2						
	日本国憲法	1前・後	2						
	教養セミナー	1前・後	2						
	数理科学	1前・後	2						
	物理学	1前・後	2						
	化学	1前・後	2						
	生物科学	1前・後	2						
	地球科学	1前・後	2						
	教養セミナー	1前・後	2						
	応用	1前・後	2						
	学際	1前・後	2						
	教養セミナー	1前・後	2						
	地域学	1前・後	2						
	教養セミナー	1前・後	2						
	英語1	1前・後	1						
	英語2	2前・後	2						
	英語3	3前・後	2						
	ドイツ語	1前・後	2						
	フランス語	1前・後	2						
ロシア語	1前・後	2							
中国語	1前・後	2							
韓国語	1前・後	2							
日本語	1前・後	2							
情報処理	1前・後	2							
健康・スポーツ科学	1前・後	2							
スポーツ実技	1前・後	1							
スポーツセミナー	1前・後	2							
数理科学	1前・後	2							
物理学	1前・後	2							
化学	1前・後	2							

生物科学	1前・後	2							
地球科学	1前・後	2							
医学	1前・後	2							
工学	1前・後	2							
農学	1前・後	2							
キャリア・デザイン	1前・後	2							
キャリア教育	2前・後	2							

- (注) ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。
- その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と平成30年度の表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。
(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成29年度】

・人事異動により、	「デザイン概論」の専任教員等の配置を「准教授1」から「助教1」に変更。
・人事異動により、	「木質構造概論」の専任教員等の配置を「准教授1」から「助教1」に変更。
・人事異動により、	「基礎設計製図」の専任教員等の配置を「准教授3」から「助教1」に変更。
・人事異動により、	「環境工学」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」に変更。
・人事異動により、	「建築設計製図Ⅰ」の専任教員等の配置を「准教授3」から「助教1」に変更。
・人事異動により、	「建築設備」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」に変更。
・人事異動により、	「建築材料学」の専任教員等の配置を「准教授1」から「助教1」に変更。
・人事異動により、	「ユニバーサルデザイン論」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」に変更。
・人事異動により、	「建築設計製図Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授3」から「助教1」に変更。
・人事異動により、	「施設計画」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」に変更。
・人事異動により、	「建築材料学実験」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」に変更。
・人事異動により、	「木質構造デザイン」の専任教員等の配置を「准教授1」から「助教1」に変更。
・人事異動により、	「建築設計製図Ⅲ」の専任教員等の配置を「准教授3」から「助教1」に変更。
・人事異動により、	「建築施工」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」に変更。
・人事異動により、	「景観設計」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」に変更。
・人事異動により、	「木質構造デザイン演習」の専任教員等の配置を「准教授1」から「助教1」に変更。
・人事異動により、	「地震工学」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」に変更。
・人事異動により、	「建築環境エネルギーデザイン実験」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」に変更。
・人事異動により、	「建築環境実験」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」に変更。
・人事異動により、	「建築設計製図Ⅳ」の専任教員等の配置を「准教授3」から「助教1」に変更。
・人事異動により、	「デザイン基礎」の専任教員等の配置を「准教授1」から「助教1」に変更。
・人事異動により、	「地域デザイン論」の専任教員等の配置を「准教授1」から「助教3」「助教1」に変更。
・人事異動により、	「地域デザイン演習」の専任教員等の配置を「准教授1」から「助教3」「助教1」に変更。
・人事異動により、	「デザイン演習」の専任教員等の配置を「准教授1」から「助教1」に変更。
・人事異動により、	「インダストリアルデザイン」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」「兼任・兼担1」に変更。
・人事異動により、	「オープンデスク」の専任教員等の配置を「准教授3」から「助教2」に変更。
・人事異動により、	「単位互換科目」の専任教員等の配置を「准教授3」から「准教授0」に変更。
・人事異動により、	「ゼミナール」の専任教員等の配置を「准教授3」から「准教授0」に変更。
・人事異動により、	「卒業研究」の専任教員等の配置を「准教授3」から「准教授0」に変更。
・人事異動により、	「学外実習（インターンシップ）」の専任教員等の配置を「准教授3」から「准教授0」に変更。
・人事異動により、	「建築・デザイン特別講義」の専任教員等の配置を「准教授3」から「准教授0」に変更。

【平成30年度】

・人事異動により、	「デザイン概論」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授4」「兼任・兼担1」に変更。
・人事異動により、	「木質構造概論」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授1」に変更。
・人事異動により、	「建築一般構造」の専任教員等の配置を「助教0」から「助教1」に変更。
・人事異動により、	「特別講義」の専任教員等の配置を「教授5」から「教授4」「助教3」に変更。
・人事異動により、	「環境工学」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」「兼任・兼担1」に変更。
・人事異動により、	「建築構造力学」の専任教員等の配置を「助教0」から「助教1」に変更。
・人事異動により、	「建築CAD演習」の専任教員等の配置を「教授1」から「兼任・兼担1」に変更。
・人事異動により、	「建築設備」の専任教員等の配置を「教授1」から「兼任・兼担1」に変更。
・人事異動により、	「建築材料学実験」の専任教員等の配置を「助教0」から「助教1」に変更。
・人事異動により、	「木質構造デザイン」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授1」に変更。
・人事異動により、	「木質構造デザイン演習」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授1」に変更。
・人事異動により、	「デザイン基礎」の専任教員等の配置を「教授1」から「兼任・兼担1」に変更。
・人事異動により、	「地域デザイン論」の専任教員等の配置を「兼任・兼担0」から「兼任・兼担1」に変更。
・人事異動により、	「地域デザイン演習」の専任教員等の配置を「兼任・兼担0」から「兼任・兼担1」に変更。
・人事異動により、	「デザイン演習」の専任教員等の配置を「教授1」から「兼任・兼担1」に変更。
・人事異動により、	「オープンデスク」の専任教員等の配置を「教授5」から「教授4」に変更。
・人事異動により、	「単位互換科目」の専任教員等の配置を「教授5」から「教授4」「助教3」に変更。
・人事異動により、	「ゼミナール」の専任教員等の配置を「教授5」から「教授4」「助教3」に変更。
・人事異動により、	「卒業研究」の専任教員等の配置を「教授5」から「教授4」「助教3」に変更。
・人事異動により、	「学外実習（インターンシップ）」の専任教員等の配置を「教授5」から「教授4」「助教3」に変更。
・人事異動により、	「建築・デザイン特別講義」の専任教員等の配置を「教授5」から「教授4」「助教3」に変更。

- (注) ・ 変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を簡条書きで記入してください。
 変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
 ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 ・ 不要な年度（平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
14 科目	108 科目	0 科目	122 科目	14 科目 [0]	108 科目 [0]	0 科目 [0]	122 科目 [0]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目 ※該当なし

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず, 何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については, 記入しないでください。
・ 教職大学院の場合は, 「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目 ※該当なし

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり, 何らかの理由で廃止 (教育課程から削除) した授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
・ 教職大学院の場合は, 「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

※該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目 (3) と廃止科目 (4) の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計 (A)}} = \frac{0}{122} = \boxed{}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3) 未開講科目」と「(4) 廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考		
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計			
	校舎敷地	374,451 m ²	0 m ²	0 m ²	374,451 m ²			
	運動場用地	132,076 m ²	0 m ²	0 m ²	132,076 m ²			
	小 計	506,527 m ²	0 m ²	0 m ²	506,527 m ²			
	そ の 他	7,937,080 m ²	0 m ²	0 m ²	7,937,080 m ²			
	合 計	8,443,607 m ²	0 m ²	0 m ²	8,443,607 m ²			
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計			
		205,756 m ² (205,756 m ²)	0 m ² (0 m ²)	0 m ² (0 m ²)	205,756 m ² (205,756 m ²)			
(3) 教 室 等		講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設		
		118 室	118 室	733 室	18 室 (補助職員 3 人)	3 室 (補助職員 0 人)		
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称			室 数			
		工学部 建築・デザイン学科			7 室			
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	
	工学部 建築・デザイン 学科	1,092,869 [318,930] (1,092,869 [318,930])	24,848 [7,051] (24,848 [7,051])	7,954 [6,665] (7,954 [6,665])	6,525 (6,525)	126 (126)	717 (717)	
	計	1,092,869 [318,930] (1,092,869 [318,930])	24,848 [7,051] (24,848 [7,051])	7,954 [6,665] (7,954 [6,665])	6,525 (6,525)	126 (126)	717 (717)	
	学科・専攻単位での特定不能なため、大学全体の数							
(6) 図 書 館		面 積		閲 覧 座 席 数	収 納 可 能 冊 数			
		12,975 m ²		1,379 席	1,059,167 冊			
(7) 体 育 館		面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				
		7,067 m ²		陸上競技場、野球場、サッカー場、テニスコート、水泳プール(50m)、武道場、弓道場、重量拳練習場				
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当たり研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円
	共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円	
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		千円	千円	千円	千円	千円	千円	
学生納付金以外の維持方法の概要								

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成30年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(30)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 AC対象学部等を含む大学等の状況

大学の名 称	山形大学							備 考	
既設学部等の名称	修業年限	入定学員	編入学員	収定 容員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開 設 年 度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍			
人文社会科学部									
人文社会科学科	4	290	3年次 20	1200	学士 (文学, 学術, 法学, 政策科学, 経済学)	1.05	平成29年度	山形県山形市小白川町一丁目4番12号	
人文学部									
人間文化学科	4	—	—	—	学士 (文学)	—	平成8年度	山形県山形市小白川町一丁目4番12号	平成29年より学生募集停止
法経政策学科	4	—	—	—	学士 (法学, 経済学, 政策科学)	—	平成18年度	同上	平成29年より学生募集停止
地域教育文化学部									
地域教育文化学科	4	175	—	700	学士 (教育学, 学術)	1.03	平成24年度	山形県山形市小白川町一丁目4番12号	
児童教育コース	4	80	—	320	学士 (教育学)	1.04	平成24年度	同上	
文化創生コース	4	95	—	380	学士 (学術)	1.00	平成29年度	同上	
異文化交流コース	4	—	—	—	学士 (学術)	—	平成24年度	同上	平成29年より学生募集停止
造形芸術コース	4	—	—	—	学士 (学術)	—	平成24年度	同上	平成29年より学生募集停止
音楽芸術コース	4	—	—	—	学士 (学術)	—	平成24年度	同上	平成29年より学生募集停止
スポーツ文化コース	4	—	—	—	学士 (学術)	—	平成24年度	同上	平成29年より学生募集停止
食環境デザインコース	4	—	—	—	学士 (学術)	—	平成24年度	同上	平成29年より学生募集停止
生活環境科学コース	4	—	—	—	学士 (学術)	—	平成24年度	同上	平成29年より学生募集停止
システム情報学コース	4	—	—	—	学士 (学術)	—	平成24年度	同上	平成29年より学生募集停止
地域教育学科	4	—	—	—	学士 (教育学)	—	平成17年度	同上	平成24年より学生募集停止
生活総合学科	4	—	—	—	学士 (学術)	—	平成17年度	同上	平成24年より学生募集停止
理学部									
理学科	4	210	—	840	学士 (理学)	1.04	平成29年度	山形県山形市小白川町一丁目4番12号	
数理科学科	4	—	—	—	学士 (理学)	—	平成7年度	同上	平成29年より学生募集停止
物理学科	4	—	—	—	学士 (理学)	—	昭和42年度	同上	平成29年より学生募集停止
物質生命化学科	4	—	—	—	学士 (理学)	—	平成7年度	同上	平成29年より学生募集停止
生物学科	4	—	—	—	学士 (理学)	—	昭和42年度	同上	平成29年より学生募集停止
地球環境学科	4	—	—	—	学士 (理学)	—	平成7年度	同上	平成29年より学生募集停止
医学部									
医学科	6	120	—	720	学士 (医学)	1.00	昭和48年度	山形県山形市飯田西二丁目2番2号	
看護学科	4	60	3年次 5	250	学士 (看護学)	1.00	平成5年度	同上	

工学部									
(昼間コース)									
高分子・有機材料工学科	4	140	—	560	学士 (工学)	1.04	平成29年度	山形県米沢市城南四丁目3番16号	
化学・バイオ工学科	4	140	—	560	学士 (工学)	1.03	平成29年度	同上	
情報・エレクトロニクス学科	4	150	—	600	学士 (工学)	1.05	平成29年度	同上	
機械システム工学科	4	140	—	560	学士 (工学)	1.05	平成29年度	同上	
建築・デザイン学科	4	30	—	120	学士 (工学)	1.04	平成29年度	同上	
機能高分子工学科	4	—	—	—	学士 (工学)	—	平成12年度	同上 平成29年より学生募集停止	
物質化学工学科	4	—	—	—	学士 (工学)	—	平成12年度	同上 平成29年より学生募集停止	
バイオ化学工学科	4	—	—	—	学士 (工学)	—	平成22年度	同上 平成29年より学生募集停止	
応用生命システム工学科	4	—	—	—	学士 (工学)	—	平成12年度	同上 平成29年より学生募集停止	
情報科学科	4	—	—	—	学士 (工学)	—	平成12年度	同上 平成29年より学生募集停止	
電気電子工学科	4	—	—	—	学士 (工学)	—	平成12年度	同上 平成29年より学生募集停止	
(フレックスコース)									
システム創成工学科	4	50	—	200	学士 (工学)	1.06	平成22年度	同上	
農学部									
食料生命環境学科	4	165	—	660	学士 (農学)	1.01	平成22年度	山形県鶴岡市若葉町1番23号	

大学の名称	山形大学大学院	備考
-------	---------	----

既設学部等の名称	修業年限	入定	学員	編入学員	収定	容員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
	年		人	年次人		人		倍			
社会文化システム研究科 (修士課程)											
文化システム専攻	2	6	—	—	12	修士 (文学)	1.99	平成9年度	山形県山形市小白川町一丁目4番12号		
社会システム専攻	2	6	—	—	12	修士 (政策科学)	0.66	平成9年度	同上		
地域教育文化研究科 (修士課程)											
臨床心理学専攻	2	6	—	—	12	修士 (臨床心理学)	0.99	平成21年度	山形県山形市小白川町一丁目4番12号		
文化創造専攻	2	8	—	—	16	修士 (学術)	0.93	平成21年度	同上		
医学系研究科 (博士課程)											
医学専攻	4	26	—	—	104	博士 (医学)	0.82	昭和54年度	山形県山形市飯田西二丁目2番2号		
(博士前期課程)											
看護学専攻	2	16	—	—	32	修士 (看護学)	1.02	平成9年度	同上		
先進的医科学専攻	2	15	—	—	30	修士 (医科学)	0.36	平成29年度	同上		
生命環境医科学専攻	2	—	—	—	—	修士 (医科学)	—	平成16年度	同上		平成29年より学生募集停止

(博士後期課程)													
看護学専攻	3	3	—	9	博士 (看護学)	0.88	平成19年度	同上					
先進的医科学専攻	3	9	—	27	博士 (医科学)	0.49	平成29年度	同上					
生命環境医科学専攻	3	—	—	—	博士 (医科学)	—	平成16年度	同上					平成29年より学生募集停止
理工学研究科													
(博士前期課程)													
理学専攻	2	53	—	106	修士 (理学)	1.06	平成29年度	山形県山形市小白川町一丁目4番12号					
物質生命化学専攻	2	—	—	—	修士 (理学)	—	平成11年度	同上					平成29年より学生募集停止
生物学専攻	2	—	—	—	修士 (理学)	—	平成11年度	同上					平成29年より学生募集停止
物質化学工学専攻	2	38	—	76	修士 (工学)	1.12	平成16年度	山形県米沢市城南四丁目3番16号					
バイオ化学工学専攻	2	28	—	56	修士 (工学)	1.23	平成22年度	同上					
応用生命システム工学専攻	2	23	—	46	修士 (工学)	1.04	平成16年度	同上					
情報科学専攻	2	28	—	56	修士 (工学)	0.81	平成16年度	同上					
電気電子工学専攻	2	34	—	68	修士 (工学)	1.01	平成16年度	同上					
機械システム工学専攻	2	50	—	100	修士 (工学)	1.44	平成5年度	同上					
ものづくり技術経営学専攻	2	10	—	20	修士 (工学)	0.85	平成17年度	同上					
(博士後期課程)													
地球共生圏科学専攻	3	5	—	15	博士 (理学、工学、学術)	0.66	平成11年度	山形県山形市小白川町一丁目4番12号					
物質化学工学専攻	3	3	—	9	博士 (工学)	1.33	平成28年度	山形県米沢市城南四丁目3番16号					
バイオ工学専攻	3	4	—	12	博士 (工学、学術)	0.58	平成22年度	同上					
電子情報工学専攻	3	4	—	12	博士 (工学、学術)	0.50	平成22年度	同上					
機械システム工学専攻	3	3	—	9	博士 (工学、学術)	1.33	平成22年度	同上					
ものづくり技術経営学専攻	3	2	—	6	博士 (工学、学術)	0.16	平成19年度	同上					
物質生産工学専攻	3	—	—	—	博士 (工学、学術)	—	平成5年度	同上					平成22年より学生募集停止
有機材料工学専攻	3	—	—	—	博士 (工学、学術)	—	平成22年度	同上					平成28年より学生募集停止
有機材料システム研究科													
(博士前期課程)													
有機材料システム専攻	2	65	—	130	修士 (工学)	1.35	平成28年度	山形県米沢市城南四丁目3番16号					
(博士後期課程)													
有機材料システム専攻	3	10	—	30	博士 (工学)	1.00	平成28年度	同上					
農学研究科													
(修士課程)													
生物生産学専攻	2	14	—	28	修士 (農学)	1.14	平成7年度	山形県鶴岡市若葉町1番23号					
生物資源学専攻	2	16	—	32	修士 (農学)	0.84	平成14年度	同上					
生物環境学専攻	2	12	—	24	修士 (農学)	0.54	平成7年度	同上					

教育実践研究科 (専門職学位課程) 教職実践専攻	2	20	—	40	教職修 士 (<small>（専任職）</small>)	1.00	平成21年度	山形県山形市小白川町 一丁目4番12号
--------------------------------	---	----	---	----	--------------------------------------	------	--------	------------------------

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部、学科)、大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について、それぞれの学校種ごとに、平成30年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織ごと」には、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 ※なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
 - ・専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。
 - ・AC対象学部等については、必ず記入するとともに、下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
 - ・学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「—」とし、「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<工学部 建築・デザイン学科>

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】			【平成29年度】			【平成30年度】			【平成31年度】			【平成32年度】		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名
専	教授	永井 康雄 (55) <平成29年4月> 建築学概論 デザイン概論 図学 西洋建築史 基礎設計製図 日本建築史 特別講義 建築設計製図Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ 建築CAD演習 ユニバーサルデザイン論 建築史演習 木質構造デザイン 木質構造デザイン演習 オープンデスク 単位互換科目 ゼミナール 卒業研究 学外実習(インターンシップ) 建築・デザイン特別講義	専	教授	永井 康雄 (56) <平成29年4月> 建築学概論 デザイン概論 図学 西洋建築史 基礎設計製図 日本建築史 特別講義 建築設計製図Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ 建築CAD演習 ユニバーサルデザイン論 建築史演習 木質構造デザイン 木質構造デザイン演習 オープンデスク 単位互換科目 ゼミナール 卒業研究 学外実習(インターンシップ) 建築・デザイン特別講義 地域デザイン論 地域デザイン演習 デザイン基礎	専	教授	永井 康雄 (57) <平成29年4月> 建築学概論 デザイン概論 図学 西洋建築史 基礎設計製図 日本建築史 特別講義 建築設計製図Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ 建築史演習 オープンデスク 単位互換科目 ゼミナール 卒業研究 学外実習(インターンシップ) 建築・デザイン特別講義 地域デザイン論 地域デザイン演習 デザイン基礎						
専	教授	河合 康則 (64) <平成29年4月> 木質構造概論 特別講義 オープンデスク 単位互換科目 ゼミナール 卒業研究(インターンシップ) 建築・デザイン特別講義	専	教授	河合 康則 (65) <平成29年4月> 木質構造概論 特別講義 オープンデスク 単位互換科目 ゼミナール 卒業研究(インターンシップ) 建築・デザイン特別講義									
専	教授	三辻 和弥 (47) <平成29年4月> 木質構造概論 建築構造力学 基礎設計製図 耐震構造 建築一般構造 特別講義 建築材料学 建築材料学実験 建築設計製図Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ 地盤工学 建築施工 木質構造デザイン 木質構造デザイン演習 建築構造デザイン 地震工学 振動論 建築設備 オープンデスク 単位互換科目 ゼミナール 卒業研究(インターンシップ) 建築・デザイン特別講義	専	教授	三辻 和弥 (48) <平成29年4月> 木質構造概論 建築構造力学 基礎設計製図 耐震構造 建築一般構造 特別講義 建築材料学 建築材料学実験 建築設計製図Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ 地盤工学 建築施工 木質構造デザイン 木質構造デザイン演習 建築構造デザイン 地震工学 振動論 建築設備 オープンデスク 単位互換科目 ゼミナール 卒業研究(インターンシップ) 建築・デザイン特別講義	専	教授	三辻 和弥 (49) <平成29年4月> 木質構造概論 建築構造力学 基礎設計製図 耐震構造 建築一般構造 特別講義 建築材料学 建築材料学実験 建築設計製図Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ 地盤工学 建築施工 木質構造デザイン 木質構造デザイン演習 建築構造デザイン 地震工学 振動論 オープンデスク 単位互換科目 ゼミナール 卒業研究(インターンシップ) 建築・デザイン特別講義 デザイン概論 地域デザイン論 地域デザイン演習						
専	教授	日高 貴志夫 (58) <平成29年4月> 特別講義 新材料加工学 建築環境エネルギーデザイン 建築環境エネルギーデザイン実験 建築環境リサイクル 建築環境実験 工業英語 デザイン演習 オープンデスク 単位互換科目 ゼミナール 卒業研究 学外実習(インターンシップ) 建築・デザイン特別講義	専	教授	日高 貴志夫 (59) <平成29年4月> 特別講義 新材料加工学 建築環境エネルギーデザイン 建築環境エネルギーデザイン実験 建築環境リサイクル 建築環境実験 工業英語 デザイン演習 オープンデスク 単位互換科目 ゼミナール 卒業研究(インターンシップ) 建築・デザイン特別講義	専	教授	日高 貴志夫 (60) <平成29年4月> 特別講義 新材料加工学 建築環境エネルギーデザイン 建築環境エネルギーデザイン実験 建築環境リサイクル 建築環境実験 工業英語 デザイン演習 オープンデスク 単位互換科目 ゼミナール 卒業研究(インターンシップ) 建築・デザイン特別講義 デザイン概論						

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専	教授	佐藤 慎也 (52) <平成29年4月>	専	教授	佐藤 慎也 (53) <平成29年4月>	専	教授	佐藤 慎也 (54) <平成29年4月>						
		特別講義 環境工学 住居計画学 住環境論 建築設計製図Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ 住まいと庭園 景観設計 都市・地域計画 施設計画 オープンデスク 単位互換科目 ゼミナール 卒業研究 学外実習(インターンシップ) 建築・デザイン特別講義 地域デザイン論 地域デザイン演習			特別講義 環境工学 住居計画学 住環境論 建築設計製図Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ 住まいと庭園 景観設計 都市・地域計画 施設計画 オープンデスク 単位互換科目 ゼミナール 卒業研究 学外実習(インターンシップ) 建築・デザイン特別講義 地域デザイン論 地域デザイン演習			特別講義 住居計画学 住環境論 建築設計製図Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ 住まいと庭園 景観設計 都市・地域計画 施設計画 オープンデスク 単位互換科目 ゼミナール 卒業研究 学外実習(インターンシップ) 建築・デザイン特別講義 地域デザイン論 地域デザイン演習 デザイン概論 ユニバーサルデザイン論						
			専	助教	濱定史 (39) <平成29年4月>	専	助教	濱定史 (40) <平成29年4月>						
					デザイン概論 木質構造概論 基礎設計製図 建築設計製図Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ 地域デザイン論 地域デザイン演習 ユニバーサルデザイン論 建築材料学 木質構造デザイン 建築史演習 木質構造デザイン演習 オープンデスク			デザイン概論 木質構造概論 基礎設計製図 建築設計製図Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ 地域デザイン論 地域デザイン演習 ユニバーサルデザイン論 建築材料学 木質構造デザイン 建築史演習 木質構造デザイン演習 オープンデスク 建築構造力学 建築材料学実験 建築一般構造 建築CAD演習 特別講義 単位互換科目 ゼミナール 卒業研究 学外実習(インターンシップ) 建築・デザイン特別講義						
			専	助教	高瀬 由美 (40) <平成29年4月>	専	助教	高瀬 由美 (41) <平成29年4月>						
					オープンデスク			オープンデスク 特別講義 単位互換科目 ゼミナール 卒業研究 学外実習(インターンシップ) 建築・デザイン特別講義						
						専	助教	汐濱 将史 (31) <平成30年4月>						
								特別講義 オープンデスク 単位互換科目 ゼミナール 卒業研究 学外実習(インターンシップ) 建築・デザイン特別講義						
兼任	教授	八木 文子 (48) <平成29年4月>	兼任	教授	八木 文子 (49) <平成29年4月>	兼任	教授	八木 文子 (50) <平成29年4月>						
		建築法規 測量学 測量学実習 知的財産権概論 インテリアデザイン論 建築職能論 職業指導Ⅰ 職業指導Ⅱ			建築法規 測量学 測量学実習 知的財産権概論 インテリアデザイン論 建築職能論 職業指導Ⅰ 職業指導Ⅱ インダストリアルデザイン			建築法規 測量学 測量学実習 知的財産権概論 インテリアデザイン論 建築職能論 職業指導Ⅰ 職業指導Ⅱ インダストリアルデザイン 環境工学 デザイン概論 デザイン基礎 デザイン演習 地域デザイン論 地域デザイン演習 建築概論						
兼任	准教授	大槻 森士 (51) <平成29年4月>	兼任	准教授	大槻 森士 (52) <平成29年4月>	兼任	准教授	大槻 森士 (53) <平成29年4月>						
		微積分解法 確率統計学			微積分解法 確率統計学			微積分解法 確率統計学						
兼任	教授	上原 拓也 (45) <平成29年4月>	兼任	教授	上原 拓也 (46) <平成29年4月>	兼任	教授	上原 拓也 (47) <平成29年4月>						
		機械工学基礎Ⅰ			機械工学基礎Ⅰ			機械工学基礎Ⅰ						

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	教授	妻木 勇一 (51) <平成29年4月>	兼任	教授	妻木 勇一 (52) <平成29年4月>	兼任	教授	妻木 勇一 (53) <平成29年4月>						
		機械工学基礎Ⅱ			機械工学基礎Ⅱ			機械工学基礎Ⅱ						
兼任	教授	小島 武夫 (48) <平成29年4月>	兼任	教授	小島 武夫 (49) <平成29年4月>	兼任	教授	小島 武夫 (50) <平成29年4月>						
		数学C			数学C			数学C						
兼任	准教授	桑名 一徳 (44) <平成29年4月>	兼任	准教授	桑名 一徳 (45) <平成29年4月>	兼任	准教授	桑名 一徳 (46) <平成29年4月>						
		安全工学			安全工学			安全工学						
兼任	教授	神谷 淳 (57) <平成29年4月>	兼任	教授	神谷 淳 (58) <平成29年4月>	兼任	教授	神谷 淳 (59) <平成29年4月>						
		数値解析			数値解析			数値解析						
兼任	教授	水戸部 和久 (53) <平成29年4月>	兼任	教授	水戸部 和久 (54) <平成29年4月>	兼任	教授	水戸部 和久 (55) <平成29年4月>						
		運動と力学及び演習			運動と力学及び演習			運動と力学及び演習						

- (注) ・ 申請書又は届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 ・ 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。
 その上で、**既退職又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。**
 ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
 ・ 専任、兼任、兼任の順に記入してください。
 ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、結めてください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【平成29年度】

- ・高澤助教就任
- ・濱助教就任

【平成30年度】

- ・汐満助教就任

- (注)
- ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
 - ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
 - ・ 不要な年度（平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時 における設置基準上 の必要教授数
7	4
名	名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	教授	准教授	講師	助教	計 (B)	教授	准教授	講師	助教	計 (C)
5	1	0	2	8	4	0	0	3	7	5	1	0	2	8
(5)	(0)	(0)	(2)	(7)						[0]	[0]	[0]	[0]	[0]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、「現在（報告書提出時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告書提出時（上 記（B））の教員 のうち、定年を延 長して採用してい る教員数	完成年度時（上記 （C））の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65	0	0
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）および、平成30年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告書提出時）の完成年度時の計画(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{8}{8} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告書提出時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告書提出時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告書提出時）の状況(B)}} = \frac{0}{7} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) -① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由	
		※該当なし					
合計 (D)				後任補充状況の集計 (E)			
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
0	人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) -②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
		※該当なし					
合計 (F)				後任補充状況の集計 (G)			
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
0	人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -③ 上記 (3) -① ・ (3) -② の合計

合計 (D) + (F)				後任補充状況の集計 (E) + (G)			
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
0	人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

(3) -④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計 (D) + (F)}}{(2) - ② \text{設置時の計画 (A)}} = \frac{0}{8} = \boxed{0} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) -⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
1	教授	河合 康則	選択	木質構造概論	①	H30.3.31付け65歳で定年退職(30)			
			選択	特別講義	①				
			選択	オープンデスク	①				
			選択	単位互換科目	①				
			選択	ゼミナール	①				
			必修	卒業研究	①				
			選択	学外実習(インターンシップ)	①				
			選択	建築・デザイン特別講義	①				
合計			後任補充状況の集計						
辞任した教員数			担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)	①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)			
1	人	必修	1 科目	必修	1 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	7 科目	選択	7 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	8 科目	計	8 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

定年退職者が担当する科目は、当初より複数教員で担当する授業であるため、当該教員が担当する科目は、他教員が担当する他、平成30年度からは夕満助教も分担で担当することになり支障はない。また、学生への周知については、オリエンテーション、学生便覧及びWeb等で周知徹底を行った。

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (平成28年8月)	※該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (平成30年2月)	※該当なし		

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、当該大学に付された意見を全て記入するとともに、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
- ・ 「履行状況」では、履行途中であれば「未履行」、履行済みであれば「履行済」を選択してください。
- ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

7 その他全般的事項

<工学部 建築・デザイン学科>

(1) 設置計画変更事項等 ※該当なし

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
記入例) ① 修了要件単位数 1 2 4 単位 必修科目〇〇単位, 選択科目〇〇単位 ② 施設・設備 a 講義室〇室 (〇㎡) b 自習室〇室 (〇㎡) c 図書〇〇冊	① 学生の専門性をより高めるため, 必修科目 (1 科目・2 単位) を追加。(別添〇「新旧対象表」参照) ② 学生の修学環境を改善するため, 講義室, 自習室をそれぞれ〇部屋 (〇㎡) 増やすとともに, 図書も〇〇冊増書した。

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で, 設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策 (FD・SD活動含む) ※該当なし

① 実施体制 a 委員会の設置状況 b 委員会の開催状況 (教員の参加状況含む) c 委員会の審議事項等 ② 実施状況 a 実施内容 記入例) ・ 授業方法について研究会 ・ 教員相互の授業参観 ・ 新任教員のための研修会 等 b 実施方法 c 開催状況 (教員の参加状況含む) d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況 ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況 a 実施の有無及び実施時期 b 教員や学生への公開状況, 方法等
--

(注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には, 関係規程等を転載又は添付すること。
 「②実施状況」には, 実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 自己点検・評価等に関する事項 ※該当なし

<p>① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見</p> <p>.....</p> <p>② 自己点検・評価報告書</p> <p>a 公表（予定）時期</p> <p>記入例）</p> <ul style="list-style-type: none">・平成30年5月1日 公表 <p>b 公表方法</p> <p>記入例）</p> <ul style="list-style-type: none">・自己点検・評価報告書を刊行し、近隣企業（〇〇社）及び希望があった学生（〇〇名）に各1冊を配布・大学ホームページ上に公開予定（平成30年8月末を予定） <p>③ 認証評価を受ける計画</p> <ul style="list-style-type: none">・平成31年度に評価機関（独立行政法人大学改革支援・学位授与機構）の評価を受けるべく、学内で検討中

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

<p>○ 設置計画履行状況報告書</p> <p>a ホームページに公表（予定）の有無 (<input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無)</p> <p>b 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期 (平成30年10月1日)</p>

(注) ・ 「a ホームページに公表（予定）有無」には、5月1日時点で公表している場合、もしくは、今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。
・ 「b 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期」には、「a ホームページに公表（予定）有無」で「有」にマルを記入した場合のみ、時期を記入してください。